

55BDL3102H/11

V1.00



www.philips.co.jp

ユーザーマニュアル (日本語)

PHILIPS

SignageSolutions

安全上の注意

安全のための注意事項とメンテナンス



警告:本書で指定していない制御、調整または手順を使用すると、感電、電氣的障害、機械的災害につながる可能性があります。

ディスプレイを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。

操作時:

- ディスプレイを直射日光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。
- 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、ディスプレイの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- キャビネットの通気口を塞がないでください。
- ディスプレイの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- 電源コードを取り外すことでディスプレイの電源をオフにする場合、6 秒待ってから電源コードを再び取り付けて通常操作を行ってください。
- Philips が提供する認可された電源コードを使用してください。電源コードが不足している場合、最寄りのサービスセンターにご連絡ください。
- 操作中、ディスプレイを強い振動や高い衝撃条件にさらさないでください。
- ディスプレイの操作中あるいは運搬中に、モニターを叩いたり落したりしないでください。
- アイボルトはメンテナンスや設置の際に短期間使用するためのものです。1 時間以上にわたりアイボルトを使用し続けなことを推奨します。長期にわたる使用は禁止されています。アイボルトの使用中は、ディスプレイの下に障害物のない安全領域を確保してください。

メンテナンス:

- ディスプレイを損傷の可能性から保護するために、LCD パネルに過剰な圧力をかけないでください。ディスプレイを動かしているとき、フレームをつかんで持ち上げます。LCD パネルに手や指を置いてディスプレイを持ち上げないでください。
- 長時間使用する予定がない場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。
- わずかに湿らせた布で洗浄する必要がある場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。落ちにくい場合は少量の水をしめらせた布でふき取ってください。ただし、アルコール、アンモニアベースの液体などの有機溶剤を使用してディスプレイを洗浄することは絶対におやめください。
- 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、ディスプレイを埃、雨、水、湿気の多い環境にさらさないでください。
- ディスプレイが濡れたら、できるだけ速やかに乾いた布で拭いてください。
- ディスプレイに異物や水が入ったら、直ちに電源をオフにし、電源コードを抜いてください。それから、異物や水を取り除き、メンテナンスセンターに送ってください。
- 熱、直射日光、極端な低温にさらされる場所でディスプレイを保管したり、使用したりしないでください。
- ディスプレイ最高のパフォーマンスを維持し長く使用するために、次の温度および湿度範囲に入る場所でディスプレイを使用することを強くお勧めします。
 - 温度: 0-40°C 32-104°F
 - 湿度: 20-80% RH
- 輝度の性能を向上させるため、LCD パネルの温度は常にセ氏 25 度に保つ必要があります。

重要:ディスプレイの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。装置が変化しない静止コンテンツを表示している場合、常に定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。長時間静止画像を表示すると、画面に「残像」として知られる「焼き付き」が表示される原因となります。これは LCD パネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」「残像」は時間とともに徐々に消えます。

警告:「焼き付き」「残像」はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これは、保証には含まれません。

サービス:

- ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- 修理または統合が必要な場合、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。
- ディスプレイを直射日光にさらさないでください。



本書で設定した指示に従っても本製品が正常に動作しない場合は、修理スタッフまたは最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。

ディスプレイを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。



- アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
又、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行ってください。
- 長時間使用する予定がない場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。
- わずかに湿らせた布で洗浄する必要がある場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。電源をオフにしているとき、画面を乾いた布で拭くことができます。ただし、アルコール、溶剤、またはアンモニアベースの液体は絶対に使用しないでください。
- 本書の指示に従っているときにディスプレイが正常に作動しない場合、修理スタッフにお問い合わせください。
- ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- ディスプレイを直射日光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。
- 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、ディスプレイの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- キャビネットの通気口を塞がないでください。
- ディスプレイは乾燥した状態を保つようにしてください。感電の原因となるため、雨や過度の湿気にさらさないでください。
- 電源ケーブルや DC 電源コードを取り外すことでディスプレイの電源をオフにする場合、6 秒待ってから電源ケーブルや DC 電源コードを取り付けて通常操作を行ってください。
- 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、ディスプレイを雨や過度の湿気にさらさないでください。
- ディスプレイの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- **重要:** ディスプレイを使用しない場合、スクリーンセーバープログラムを常に有効にしておいてください。コントラストの高い静止画像が長期間画面に表示されていると、画面の前面に「残像」または「ゴースト像」が残ることがあります。これは、LCD 技術に特有の欠点に起因する、よく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると残像は時間と共に徐々に消えます。残像症状は修理できず、保証に含まれないことにご注意ください。

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

EU 適合宣言

本装置は、電磁適合性 (2014/30/EU)、低電圧指令 (2014/35/EU) 指令、RoHS 指令 (2011/65/EU) に

関連する加盟国の法律の擦り合わせに基づき、理事会指令において規定された要件に準拠しています。

本製品は、情報技術機器の整合規格に従って試験され、それらに準拠することが判明しています。これらの整合規格は、欧州連合の官報指令に基づき、発行されています。

ESD に関する警告

ユーザーがモニターに近づくと、装置の静電放射を引き起こし、再起動してメインメニュー表示に戻る可能性があります。

警告:

本装置は、EN55032/CISPR 32 のクラス A に準拠しています。居住環境において、本装置は電波干渉を引き起こす可能性があります。

連邦通信委員会 (FCC) 通知 (米国のみ)



注記: 本装置は、FCC 規定第 15 章によるクラス A デジタル装置の制限に準拠していることが試験により確認されています。これらの制限は、本装置が商用環境において運用される場合に、有害な電波障害から合理的に保護するよう設計されています。本装置は、無線周波数を発生、使用、および放射しています。使用説明書どおりに設置し使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。本装置を住宅地で使用すると有害な電波障害を起こす恐れがあります。この場合、使用者が自費で障害を是正する必要があります。



この規定の適合性に対する有責当事者による明示的な承諾が無いにもかかわらず、この機器に変更を加えたり、或は改造したりした場合、この機器を操作するためのあなたの権限が取り消されますのでご注意ください。

本製品をコンピュータ機器に接続する際は、付属された RF シールドケーブルのみを使用してください。

火災および感電による怪我の危険を防ぐため、この製品を雨や過度の湿気に晒さないようにしてください。

本装置は FCC 規則第 15 章に準拠しています。次の 2 つの条件を前提として動作します。(1) 本装置が有害な干渉を起こさないこと。(2) 本装置が望まない操作から生じる干渉を含むあらゆる干渉を受け入れること。

Envision Peripherals Inc.
47409 Seabridge Drive
Fremont, CA 94538
電話: 510-770-9988

テストおよび認定通知用の研磨センター

装置は、付属の保護回路（三叉のソケット）の付いたソケットから電力を取る必要があります。共に作動するすべての装置（コンピュータ、ディスプレイ、プリンタなど）は、同じ電源装置を使用する必要があります。

部屋の電気設備の位相整合導体は、16 アンペア (A) 以下の公称値を持つヒューズの形の予備の短絡保護デバイスを使う必要があります。

装置を完全にオフに切り替えるには、電源ケーブルを装置の傍に取り付けられ容易に手の届く電源コンセントから取り外す必要があります。

保護マーク「B」は、装置が標準の PN-93/T-42107 と PN-89/E-06251 の保護使用要件に準拠していることを確認します。

電気、磁気、電磁場 (「EMF」)

1. 当社は消費者をターゲットとした多くの製品を製造し販売しており、他の電子装置同様、一般に電磁信号を放出し受け取る能力があります。
2. 主なビジネス原則の 1 つは、当社製品に対して必要なすべての健康的で安全な措置を講じる一方で、該当するすべての必要要件に適合し、製品の製造時に該当する EMF 基準を超えないということです。
3. 当社は健康に悪影響を及ぼさない製品を開発し、製造し販売することに全力で取り組んでいます。
4. また、製品が使用目的に従って適切に扱われる場合、今日分かっている科学的証拠に従って安全に使用できることを確認しています。
5. また、国際的 EMF と安全基準の開発に積極的な役割を果たして、製品の早期統合のためのさらなる開発に先駆けて着手しています。

使用済み後の廃棄

新しい公共情報ディスプレイには、リサイクルされ再利用できる材料が含まれています。専門企業は再利用できる材料の量を増やし、廃棄する量を最小限に抑えるために製品をリサイクルできます。

最寄りの Philips 販売店から、古いディスプレイを破棄する方法に関する地方条例の情報をお尋ねください。

廃電気電子機器 -WEEE

欧州連合の個人の住宅のユーザーへの注意



製品やそのパッケージについているこのマーキングは、使用される電気・電子機器を管理する欧州指令 2012/19/EU に基づき、本製品が通常の家ごみと一緒に廃棄できないことを示しています。ユーザーには、指定された廃電気・電子機器の回収を通して、本機器を廃棄する責任があります。かかる廃電気・電子機器を出す場所については、地方自治体、家庭を回る廃棄物処理組織、製品を購入した店にお問い合わせください。

使用済み指令 - リサイクル



新しい公共情報ディスプレイには、新しいユーザーのためにリサイクルできるいくつかの材料が含まれています。すべての現地法、州法および連邦法に従って廃棄してください。

バッテリー



他の非 EU 諸国の場合：使用済み電池の正しい廃棄方法については、お住まいの地方自治体にお問合せください。

EU 指令 2006/66/EC に従い、電池を不適切に廃棄することはできません。電池は、地方自治体のサービスにより、個別に収集される必要があります。

目次

1. 開梱と設置	1	4.3.3. PC から DLNA-DMR を使うには	16
1.1. 開梱	1	4.4. USB デバイスのマルチメディア ファイルを再生する	16
1.2. パッケージに含まれるもの	1	4.5. 再生オプション	17
1.3. 設置に関する注意	1	4.5.1. 音楽ファイルの再生	17
1.4. 壁に取り付ける	2	4.5.2. 動画ファイルの再生	17
1.4.1. VESA 規格取付穴	2	4.5.3. 写真ファイルの再生	17
1.5. 縦向きの設置について	3	4.6. Opera ブラウザ (HTML5) の使い方	18
1.6. エッジアラインメントキットの使用法	4	5. 設定を変更するには	19
1.6.1. エッジアラインメントキットを取り付ける	4	5.1. 設定	19
2. 各部の機能	5	5.1.1. 画像	19
2.1. コントロールパネル	5	5.1.2. サウンド	20
2.2. 入力 / 出力端子	6	5.1.3. タイル	20
2.3. Remote Control (リモコン)	7	5.1.4. ネットワーク	21
2.3.1. 一般の機能	7	5.1.5. ストレージ	22
2.3.2. リモコン ID	8	5.1.6. 全般設定	23
2.3.3. リモコンに乾電池を挿入する	9	5.1.7. Adv. (詳細)	26
2.3.4. リモコンの取り扱い	9	5.1.8. ウェブコントロール	26
2.3.5. リモコンの動作範囲	9	5.1.9. FTP サーバー	29
3. 外部機器を接続する	10	6. USB デバイス互換性	31
3.1. 外部機器 (DVD/VCR/VCD) の接続	10	7. 入力モード	33
3.1.1. コンポーネントビデオ入力の使用	10	8. 画素欠陥ポリシー	34
3.1.2. ビデオソース入力の使用	10	8.1. 画素とサブ画素	34
3.1.3. HDMI ビデオ入力の使用	11	8.2. 画素欠陥の種類 + ドット定義	34
3.2. PC の接続	11	8.3. 明るいドット欠陥	34
3.2.1. VGA 入力の使用	11	8.4. 暗いドット欠陥	35
3.2.2. DVI 入力の使用	11	8.5. 画素欠陥の近接	35
3.2.3. HDMI 入力の使用	12	8.6. 画素欠陥の許容範囲	35
3.2.4. DisplayPort 入力の使用	12	8.7. MURA	35
3.3. オーディオ機器の接続	12	9. 清掃とトラブルシューティング	36
3.3.1. 外部スピーカーの接続	12	9.1. 清掃	36
3.4. デイジーチェーン構成で複数のディスプレイを接続する	13	9.2. トラブルシューティング	37
3.4.1. ディスプレイコントロール接続	13	10. 技術仕様	38
3.4.2. デジタルビデオ接続	13	11. 外形図	39
3.5. IR 接続	13		
3.6. IR パススルー接続	14		
3.7. ケーブルを使ったネットワーク接続	14		
4. 取り扱い	15		
4.1. 接続されたビデオソースを見る	15		
4.2. 画像フォーマットを変更する	15		
4.3. ローカルエリア ネットワークを経由してマルチメディア ファイルを再生する	15		
4.3.1. ネットワークの設定	15		
4.3.2. DLNA-DMP の使い方	15		

1. 開梱と設置

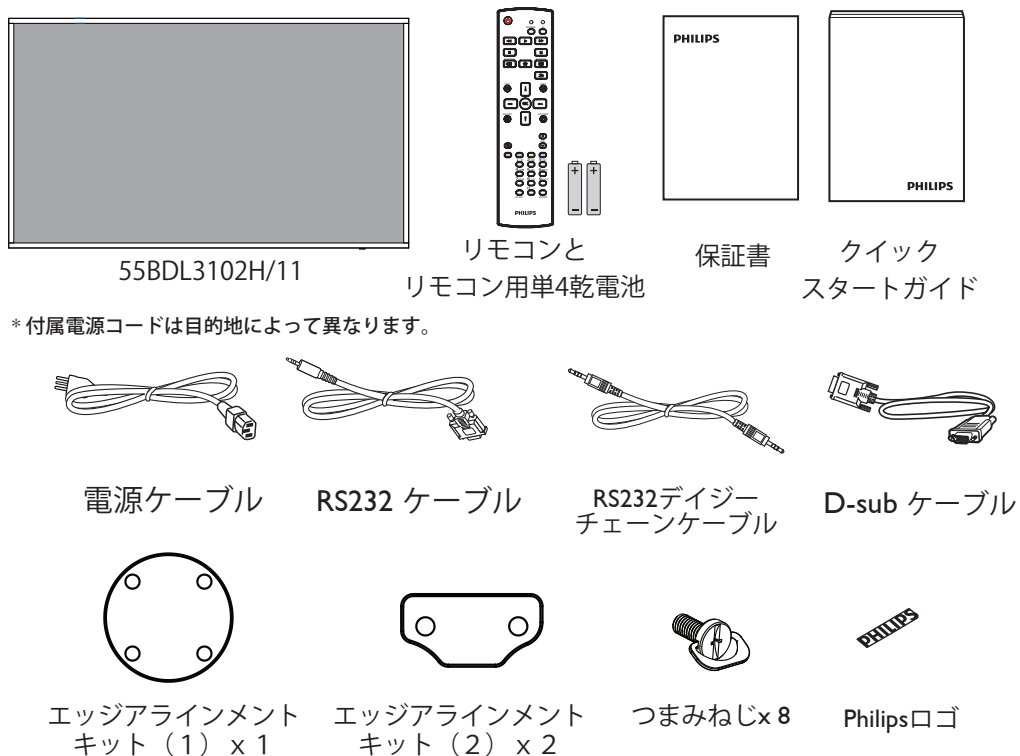
1.1. 開梱

- 本ディスプレイは、標準アクセサリと共に専用の箱に梱包されています。
- オプションのアクセサリは、別途ご購入が必要です。
- 本ディスプレイは、サイズが大きく重いため、2人以上でお運び下さい。
- 開梱後、内容物に不足がなく、状態に問題がないことをご確認ください。

1.2. パッケージに含まれるもの

パッケージに次の品目が揃っていることを確認してください。

- LCD ディスプレイ
- クイックスタートガイド
- 保証書
- リモコン(単 4 乾電池)
- 電源ケーブル
- RS232 ケーブル
- RS232 デイジーチェーンケーブル
- D-sub ケーブル
- エッジアラインメントキット 1: 1 個
- エッジアラインメントキット 2: 2 個
- つまみねじ: 8 個
- Philips ロゴ



* 地域によって異なります。

ディスプレイデザインとアクセサリは、イラストと異なる場合があります。

注記:

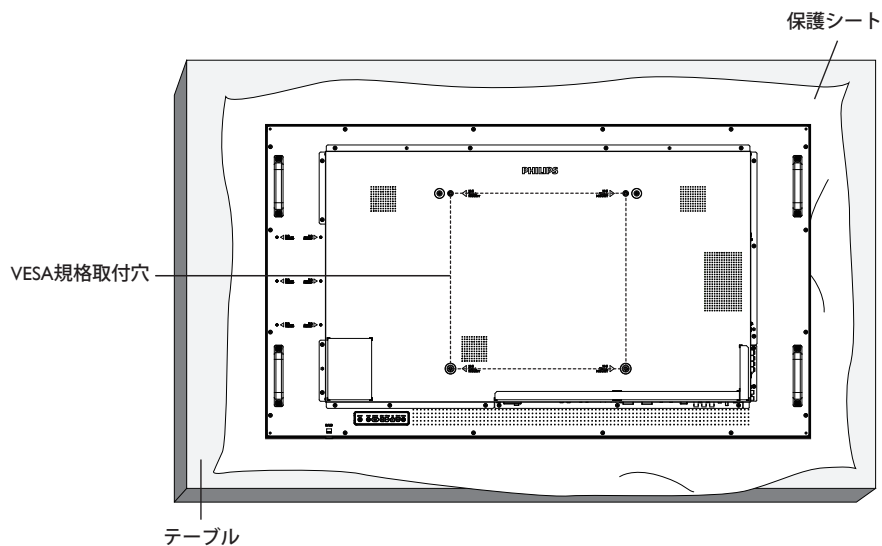
- 他の国・地域で使う場合は、当該地域の安全基準に則した電源プラグ及び電源コードを使用する必要があります。
- 本製品を運搬する際は、専用の梱包箱と梱包材の使用を推奨します。

1.3. 設置に関する注意

- 消費電力量の多い製品ですので、本ディスプレイ用に設計された専用の電源プラグをご使用下さい。
コードの延長が必要な場合は、代理店または設置サービス事業者にご相談下さい。
- 本ディスプレイを設置する場合は、傾斜面を避け、平らな面に設置して下さい。ディスプレイの背面と壁は、適度に空気が循環する距離を保つ必要があります。使用している電子部品の寿命を短縮する恐れがあるため、本ディスプレイを台所や浴室など湿度の高い場所に設置しないで下さい。
- 本ディスプレイは、標高 3,000m 以下での使用を想定しています。標高 3,000m 以上で使用する場合、何らかの異常が生じる可能性があります。

1.4. 壁に取り付ける

本ディスプレイを壁に取り付けるには、標準の壁掛け用取付金具（市販品）を購入する必要があります。



- 梱包時に本製品を覆っていた保護シートをテーブル上に敷き、画面表面に傷が付かないように画面表面を下にします。
- 本製品を取り付けるため（壁掛け、天上取り付け、テーブルスタンドなど）のすべての付属品があることを確認してください。
- 取り付けにあたっては取付金具に同梱の説明書をよくお読み下さい。
取付手順を誤ると、破損や作業者の怪我につながる恐れがあります。誤った取付方法が原因で生じた破損は、当社の保証の対象外となりますので、ご注意ください。
- 壁掛け用取付金具には、M6 取付ねじ（取付ブラケットの厚さより 10mm 以上長いもの）を使用し、しっかりと固定して下さい。

1.4.1. VESA 規格取付穴

55BDL3102H	400 (横) × 400 (縦) mm
------------	----------------------

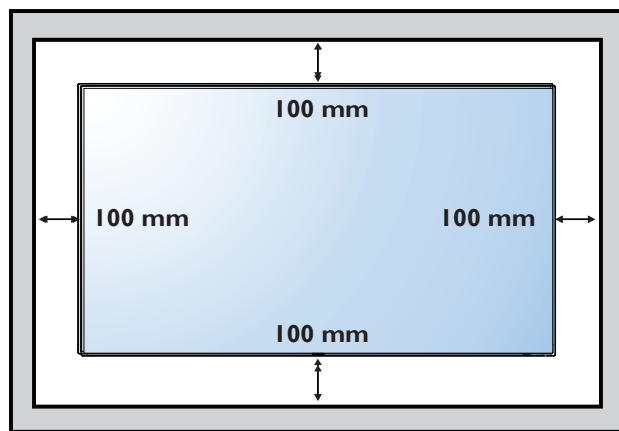
注意：

本製品の落下を防止するために：

- 本製品を壁または天井へ設置する場合は、市販の金属製ブラケットを使用して設置することを推奨します。設置の詳細説明については、それぞれのブラケットに付属のガイドを参照してください。
- 地震やその他天災が起きた際に、本製品の落下による怪我や破損の可能性を下げるため、設置場所については必ずブラケットメーカーに相談してください。

設置場所を決める際の換気要件

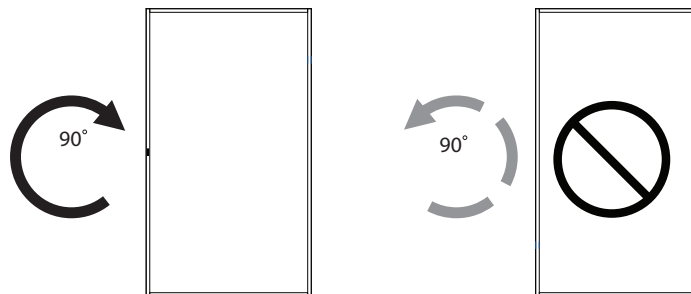
熱がこもるのを防ぐため、右図のように、ディスプレイの周囲に十分なスペースを確保して下さい。



1.5. 縦向きについて

本製品は、縦向きの位置に設置することができます。

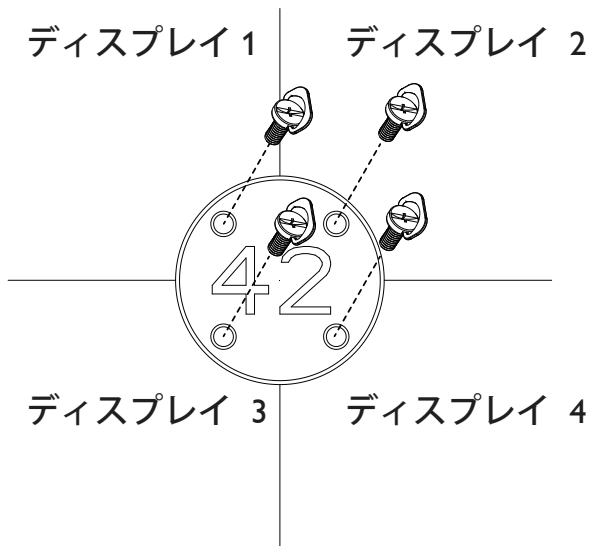
1. テーブルスタンドが取り付けられている場合、取り外します。
2. 90 度時計回りに回転します。ディスプレイに向き合うと、「**PHILIPS**」ロゴが左側に表示されます。



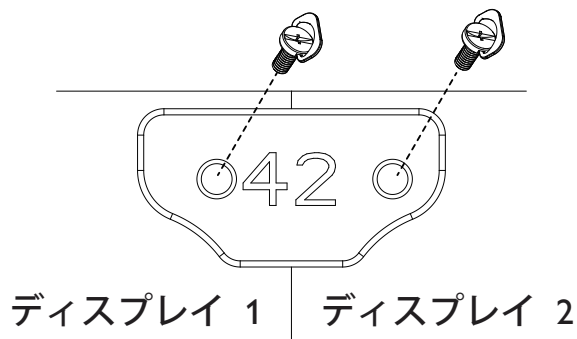
1.6. エッジアラインメントキットの使用法

1.6.1. エッジアラインメントキットを取り付ける

- エッジアラインメントキットを取り付ける前に、ディスプレイを壁掛けビデオのフレームに正しく取り付ける必要があります。
- エッジアラインメントキットを取り付ける際は、専門の設置業者に問い合わせてください。専門業者による設置をしなかった場合、当社は設置に対する賠償責任を一切負いません。
- 「つまみねじ」を使い、エッジアラインメントキットを簡単に取り付けられます。
- 隣接する4台のディスプレイに、「エッジアラインメントキット 1」を使用します。

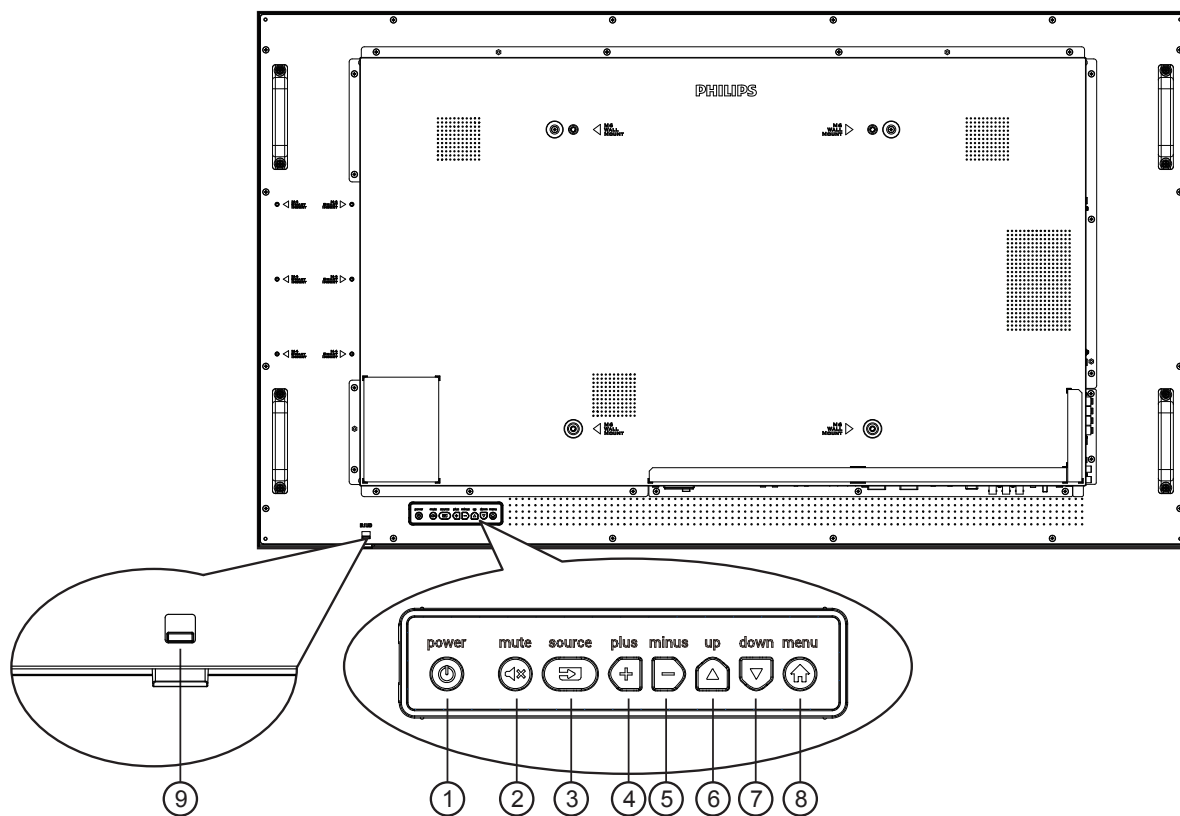


- 隣接する2台のディスプレイに、「エッジアラインメントキット 2」を使用します。



2. 各部の機能

2.1. コントロールパネル



①

ディスプレイの電源を入れたり、スタンバイにするときに使用します。

②

音声の消音オン/オフを切り替えます。

③

入力ソースを選択します。

- ・ オンスクリーン ディスプレイ メニューでは「OK」ボタンとして使用します。

④

OSD メニューがオンの時には調整を上げ、OSD メニューがオフの時には、音声出力レベルを上げます。

⑤

OSD メニューがオンの時には調整を下げ、OSD メニューがオフの時には音声出力レベルを下げます。

⑥

OSD メニューの各種調節項目を選択する際に使用します。

⑦

OSD メニューの各種調節項目を選択する際に使用します。

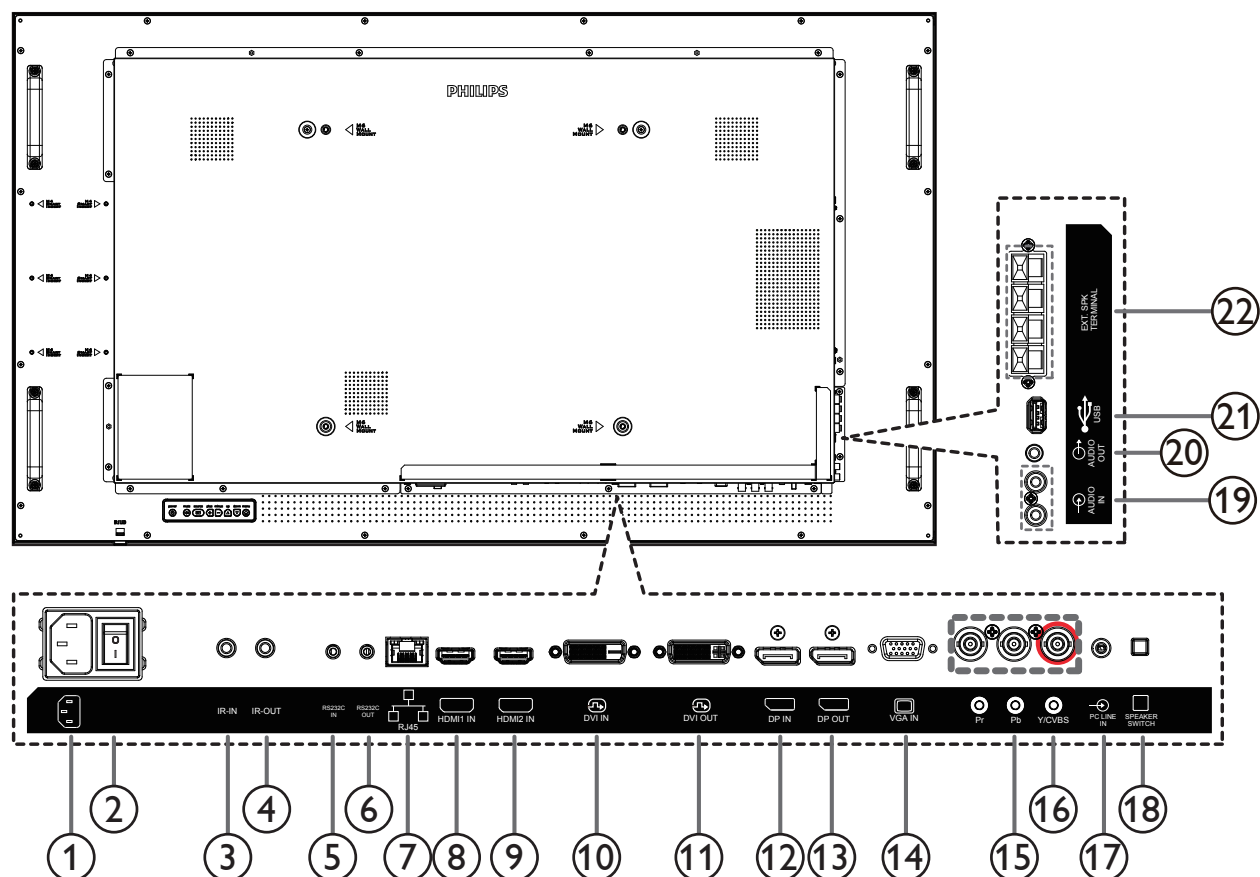
⑧

OSD メニュー表示時に押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。OSD メニューが表示されていないときに押すと、OSD メニューが表示されます。

⑨ リモコンセンサーと電源ステータスインジケータ

- ・ リモコンからの指令信号を受信します。
- ・ OPS のない本製品の動作状態を表示します：
 - 本製品の電源がオンのとき緑色点灯する
 - 本製品がスタンバイモードのとき赤色点灯する
 - ディスプレイが APM モードに入ると、琥珀色点灯する
 - {スケジュール} が有効の場合は緑と赤色に点滅する
 - 赤色点滅の場合は故障の検出を示す
 - 本製品の主電源がオフの場合消灯する

2.2. 入力 / 出力端子



① AC 入力

壁コンセントからの AC 電源入力。

② 主電源スイッチ

主電源のオン / オフを切り替える。

③ IR 入力 / ④ IR 出力

ループスルー機能向けの IR 信号入力 / 出力。

メモ:

- ジャック [IR 入力] が接続されている場合、本製品のリモコンセンサーは機能を停止します。
- 本製品を使ってお持ちの AV 機器をリモート操作するには、14 ページまたは IR パススルー接続を参照してください。

⑤ RS232 入力 / ⑥ RS232 出力

ループスルー機能向けの RS232 ネットワーク入力 / 出力。

⑦ RJ-45

コントロールセンターからリモコン信号を使用するための LAN 制御機能です。

⑧ HDMI1 入力 / ⑨ HDMI2 入力

HDMI ビデオ / 音声入力。

⑩ DVI 入力

DVI-D ビデオ入力。

⑪ DVI 出力

DVI または VGA ビデオ出力。

⑫ DisplayPort 入力 / ⑬ DisplayPort 出力

DisplayPort ビデオ入力 / 出力。

⑭ VGA 入力 (D-Sub)

VGA ビデオ入力。

⑮ コンポーネント入力 (BNC)

コンポーネント YPbPr ビデオソース入力。

⑯ Y/CVBS

ビデオソース入力。

⑰ 音声入力

VGA ソース用の音声入力 (3.5mm ステレオ電話)

⑱ スピーカースイッチ

内部スピーカーオン / オフスイッチ。

⑲ 音声入力

内部 AV デバイスからの音声入力 (RCA)。

⑳ 音声出力

外部 AV 機器への音声出力。

㉑ USB ポート

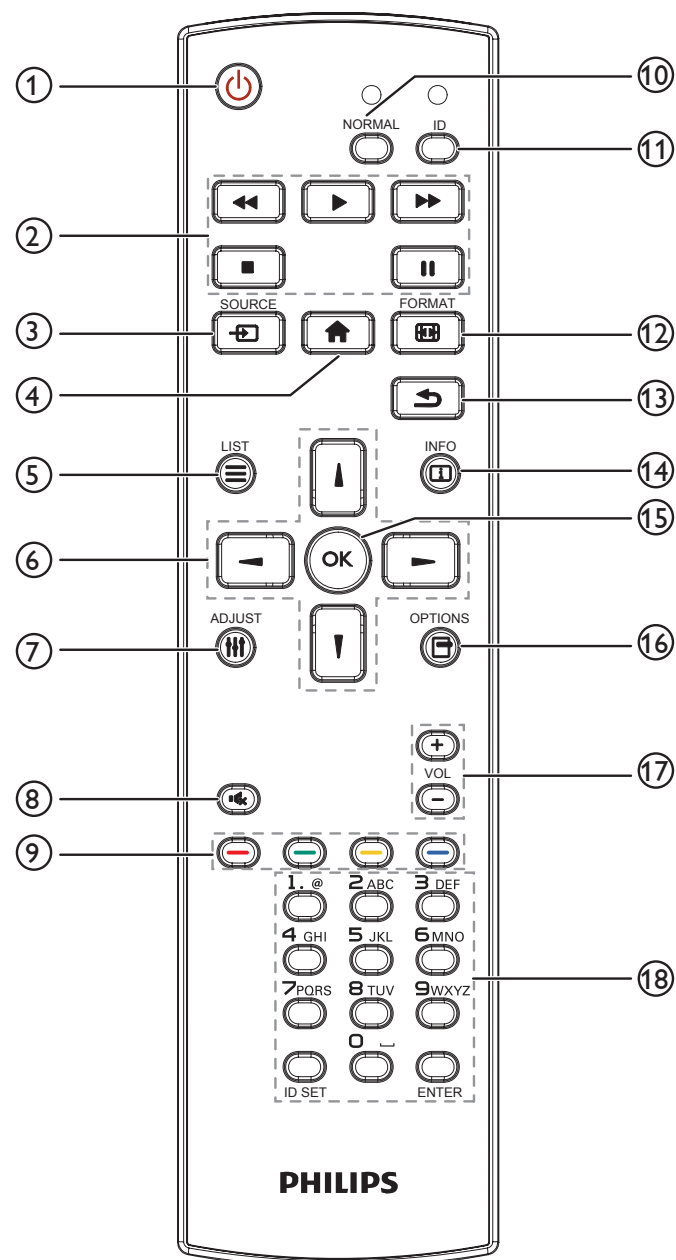
USB ストレージデバイスを接続します。

㉒ スピーカー出力

外部スピーカへの音声出力。

2.3. Remote Control (リモコン)

2.3.1. 一般の機能



① [電源] 電源ボタン

ディスプレイをオンにしたり、スタンバイモードにします。

② [Play] ボタン

メディアファイルの再生を操作します。

③ [ソース] ソースボタン

入力ソースを選択します。[↑] または [↓] ボタンを押して、**DisplayPort**、**DVI-D**、**VGA**、**HDMI 1**、**HDMI 2**、**HDMI 3**、**コンポーネント**、**ムービー**、**USB**、**BROWSER**、**SmartCMS**、または **Card OPS** から選択します。[OK] ボタンを押して確認し、終了します。

④ [ホーム] ホームボタン

OSD メニューにアクセスします。

⑤ [≡] リストボタン

使用しません。

⑥ [↑][↓][←][→] ナビゲーションボタン

メニューを移動して項目を選択します。

⑦ [調整] 調整ボタン

VGA 入力のみを自動調整します。

⑧ [静音] 消音ボタン

消音機能をオン/オフで切り換えます。

⑨ [色] 色ボタン

タスクやオプションを選択します。

⑩ [ノーマル] ボタン

ノーマルモードに切り替えます。

⑪ [ID] ボタン

ID モードに切り替えます。

⑫ [形式] 形式ボタン

ズームモードを変更します。

⑬ [戻る] 戻るボタン

以前に選択したメニューに戻る、または以前の機能を終了します。

⑭ [i] 情報ボタン

現在実行しているアクティビティの情報を表示します。

⑮ [OK] ボタン

入力または選択を確定します。

⑯ [オプション] オプションボタン

現在選択可能なオプションを操作します。画像および音声メニュー用。

⑰ [−][+] 音量ボタン

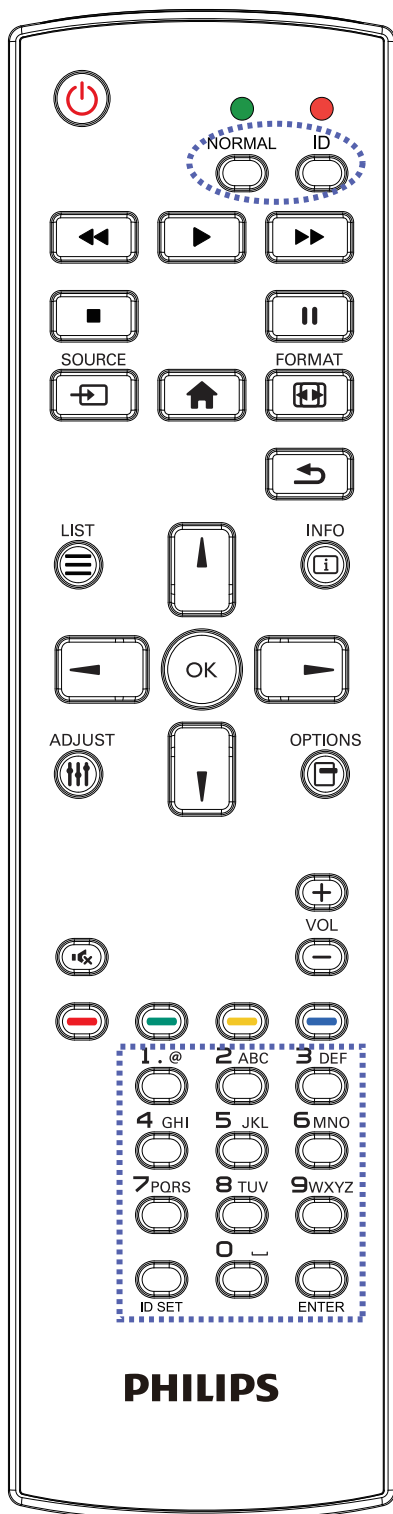
音量を調節します。

⑱ [NUMERIC] ボタン

ネットワーク設定用のテキストを入力し、ID モード用の ID を設定します。

2.3.2. リモコン ID

複数のディスプレイの中の 1 つでこのリモコンを使用する場合には、リモコン用 ID を設定できます。



[ID] ボタンを押してください。赤い LED が 2 回点滅します。

1. ID モードに移行するためには、[ID SET] ボタンを 1 秒以上押してください。赤い LED が点灯します。
[メディアプレーヤー使用時に機能します。] ボタンを再度押すと、ID モードを離れます。赤い LED が消えます。

[0] ~ [9] の数字を押して、コントロールしたいディスプレイを選択します。

例: ディスプレイ番号 1 では [0] と [1]、ディスプレイ番号 11 では [1] と [1] を押してください。

使用できる番号は [01] ~ [255] です。

2. 10 秒以内にどれかのボタンを押さないと、ID モードを離れます。
3. 数字以外のボタンを押してエラーが生じた場合には、赤い LED が消えて再度点灯してから 1 秒間待って、正しい数字を押してください。
4. [Enter] ボタンを押して、承認してください。赤い LED が 2 回点滅して、消えます。

注記:

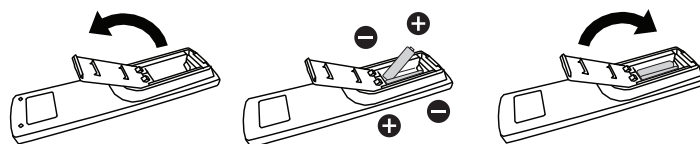
- [ノーマル] ボタンを押してください。緑の LED が 2 回点滅して、ディスプレイが正常に作動していることを示します。
- ID 番号を選択する前に、それぞれのディスプレイで ID 番号を設定する必要があります。
- リモコンの「|||」（一時停止）キーを使って、画面をフリーズします。リモコンの「▶」（再生）キーを使って、画面のフリーズを解除します。
- 「Normal」機能は、VGA、AV、YPbPr、HDMI、DVI、DPT などの「リアルな」ビデオソースにのみ適応することができます。
- リモコンでの操作、またはビデオモードの変更により、画面のフリーズが解除されます。

2.3.3. リモコンに乾電池を挿入する

リモコンは 2 本の 1.5V 単 4 乾電池で作動します。

以下に従い、乾電池を入れて下さい。

1. カバーを押してスライドさせ、開いてください。
2. 電池ケース内の「+」と「-」に合わせて、乾電池を入れてください。
3. カバーを閉じてください。



注意:

乾電池を間違えて使用すると、液漏れまたは破裂することがあります。以下の指示に必ず従ってください:

- 単 4 乾電池の各乾電池の (+) と (-) 記号が、バッテリー収納部の (+) と (-) 記号に合うようにしてセットします。
- 違う種類の乾電池を一緒にして使用しないでください。
- 新しい乾電池と中古乾電池を一緒に使用しないでください。乾電池の寿命が短くなったり、液漏れの原因となります。
- 使用済みの乾電池は液漏れの原因となるため、使用しないで下さい。

注記: 長期間リモコンを使用する予定がない場合、乾電池を取り出してください。

2.3.4. リモコンの取り扱い

- 強い衝撃を与えないでください。
- 水などの液体をリモコンにかけないでください。リモコンがぬれたときには、直ちに拭いて乾かしてください。
- 熱と蒸気を避けてください。
- 乾電池を入れるとき以外は、リモコンを開けないでください。

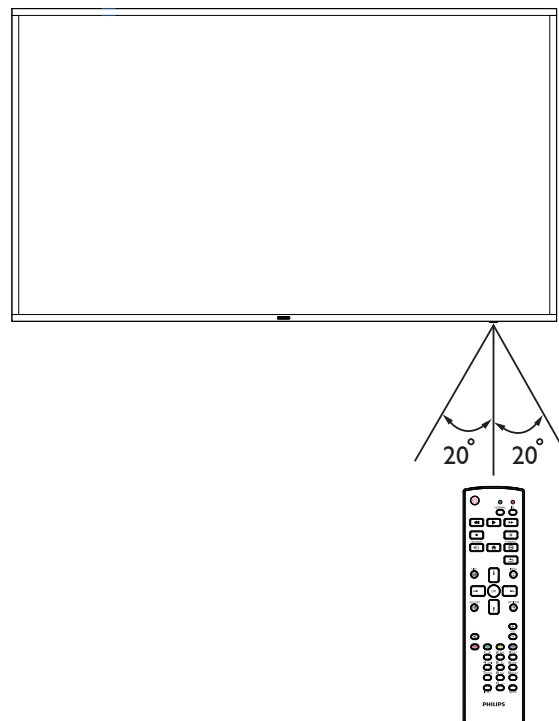
2.3.5. リモコンの動作範囲

ボタンを押すとき、リモコンの上部をディスプレイのコントロールセンサーに向けてください。

(レンズを引き下げ、正面からリモコンを使用するという前提条件で) ディスプレイのセンサーから 5 メートル (26 フィート) より近い距離で、水平方向と垂直方向 20 度未満の範囲内でリモコンを使用してください。

注記:

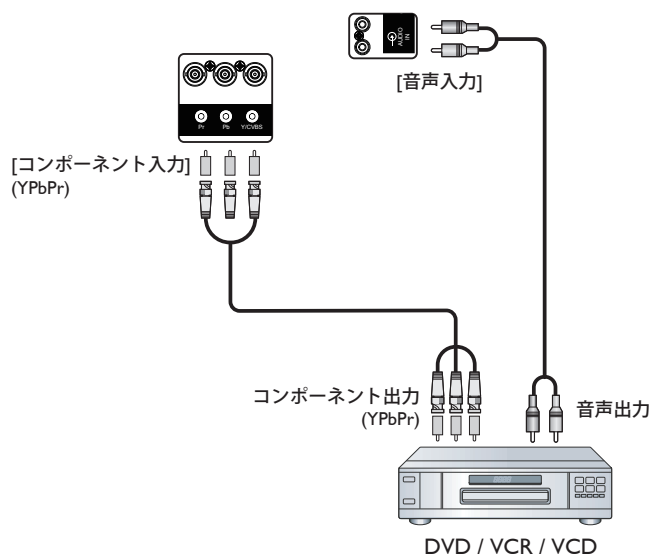
- ディスプレイのリモコンセンサーが直射日光や強い照明浴びていたり、または信号の経路に障害物がある場合には、リモコンが適切に作動しないことがあります。
- リモコンの性能を向上させるため、IR センサーケーブルを使用してください (3.5 の説明を参照)。



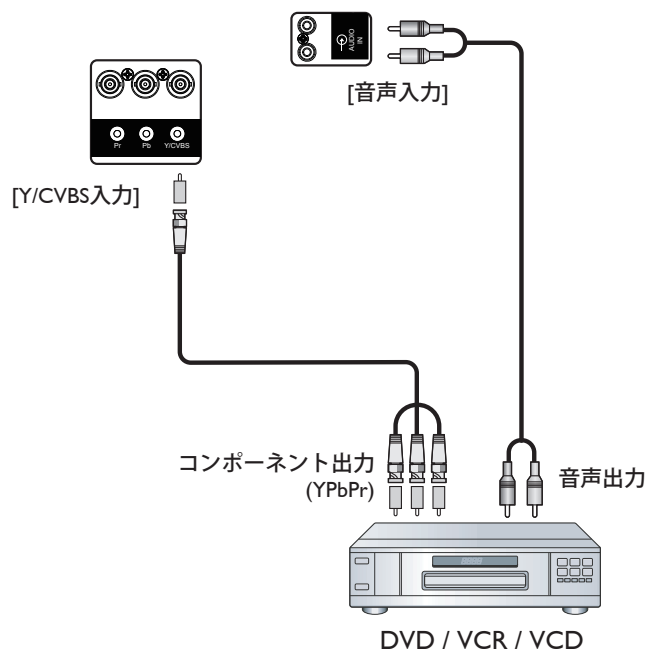
3. 外部機器を接続する

3.1. 外部機器 (DVD/VCR/VCD) の接続

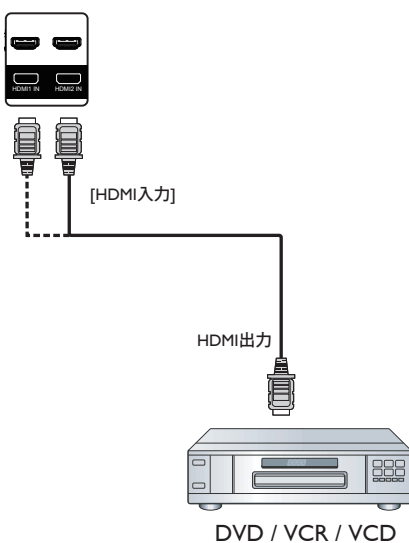
3.1.1. コンポーネントビデオ入力の使用



3.1.2. ビデオソース入力の使用

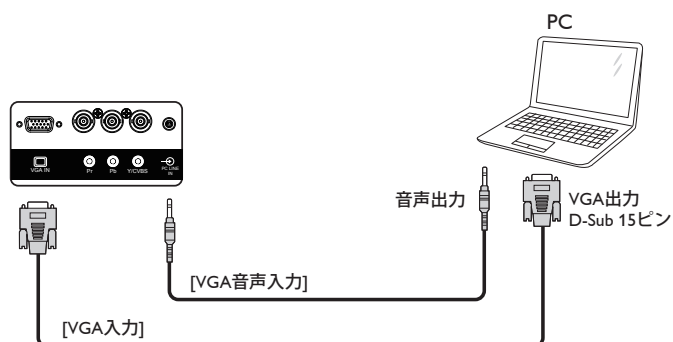


3.1.3. HDMI ビデオ入力の使用

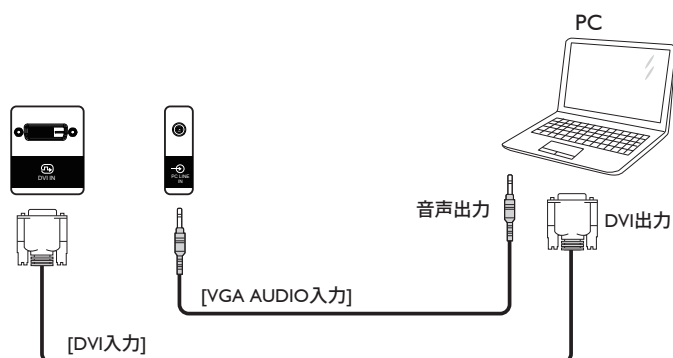


3.2. PC の接続

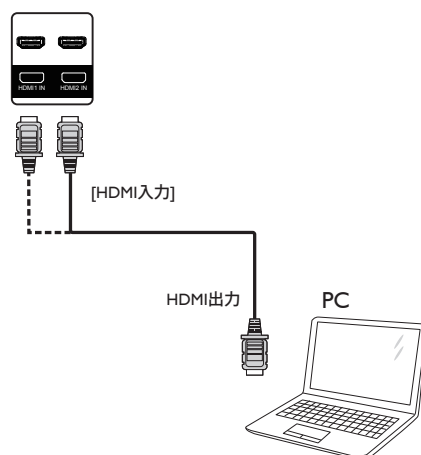
3.2.1. VGA 入力の使用



3.2.2. DVI 入力の使用



3.2.3. HDMI 入力の使用

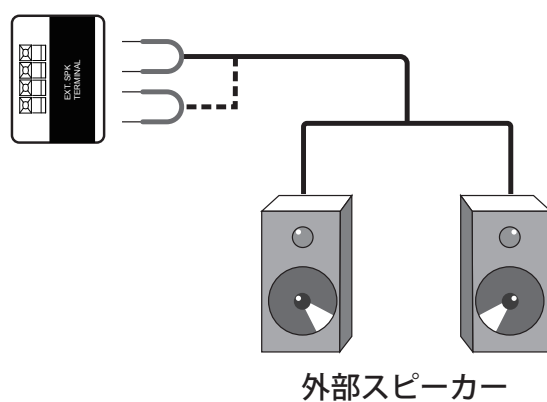


3.2.4. DisplayPort 入力の使用



3.3. オーディオ機器の接続

3.3.1. 外部スピーカーの接続

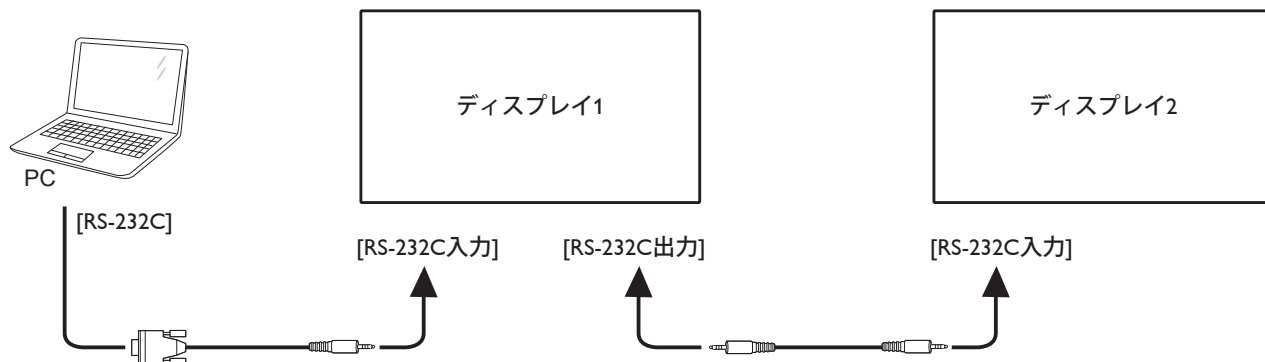


3.4. デイジーチェーン構成で複数のディスプレイを接続する

複数のディスプレイを相互接続し、メニューボードなどの用途向けに、デイジーチェーン構成を作成することが可能です。

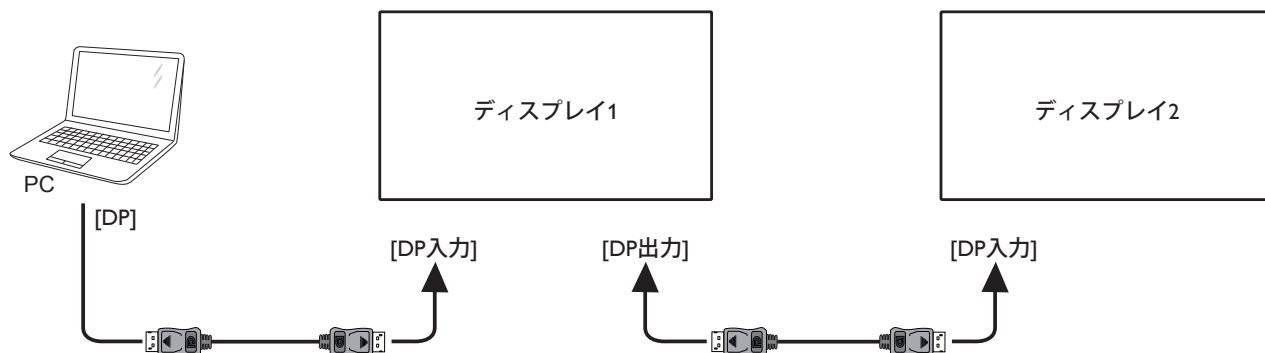
3.4.1. ディスプレイコントロール接続

ディスプレイ 1 の [RS232C 出力] コネクタをディスプレイ 2 の [RS232C 入力] コネクタに接続します。

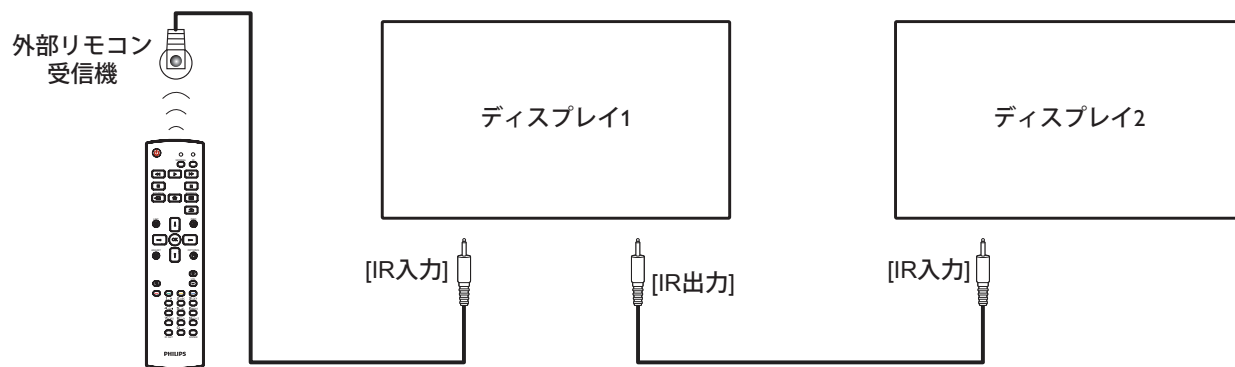


3.4.2. デジタルビデオ接続

ディスプレイ 1 の [DP 出力] コネクタを、ディスプレイ 2 の [DP 入力] コネクタに接続します。



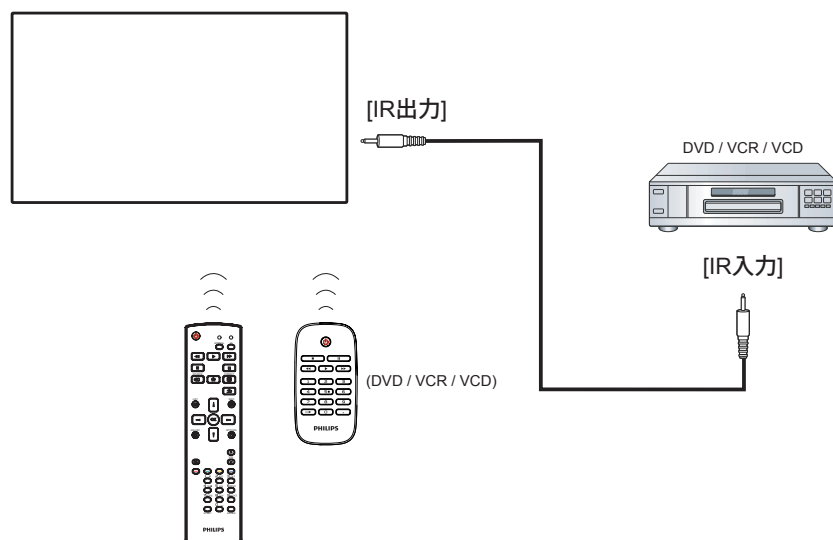
3.5. IR 接続



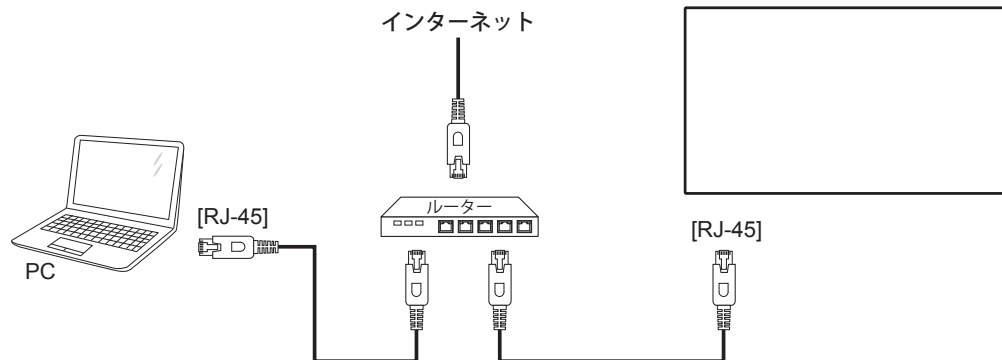
注記：

1. [IR 入力] が接続されている場合、本製品のリモコンセンサーは動作を停止します。
2. IR ループスルー接続では、最大 9 台のディスプレイに対応できます。

3.6. IR パススルー接続



3.7. ケーブルを使ったネットワーク接続



ネットワークを設定するには、

1. ルーターの電源を入れ、DHCP 設定を有効にします。
2. イーサネットケーブルを使って、ルーターを本製品に接続します。
3. リモコンの [] ホーム ボタンを押した後に、**セットアップ** を選択します。
4. **ネットワークに接続する** を選択して、[**OK**] ボタンを押します。
5. スクリーン上の説明に従ってネットワークをインストールします。
6. 本製品がネットワーク接続を検出するまで待ちます。
7. 表示があれば、「**エンドユーザーライセンス**」に同意します。

注記： EMC 指令に準拠するため、シールドされた CAT-5 イーサネットケーブルを使って接続してください。

4. 取り扱い

注: この章で説明されている操作ボタンは、特に記述のない限りリモコン上にあるボタンを指します。

4.1. 接続されたビデオソースを見る

外部機器の接続に関しては、10 ページを参照してください。

1. [] ソースボタンを押します。
2. [] または [] ボタンを押してデバイスを選択し、[**OK**] ボタンを押します。

4.2. 画像フォーマットを変更する

ビデオソースに合わせて画像フォーマットを変更することができます。それぞれのビデオソースに対して、使用可能な画像フォーマットがあります。

使用可能な画像フォーマットはビデオソースによって異なります。

1. [] 形式ボタンを押します。
2. [] または [] ボタンを押して画像フォーマットを選択し、[**OK**] ボタンを押します。
 - { **オートズーム** } : スクリーンいっぱいに拡大します。スクリーンの歪みを最小にすることをお勧めします。HD や PC にはご利用できません。
 - { **16:9** } : 4:3 形式を 16:9 形式に調整します。HD や PC にはご利用できません。
 - { **ワイド** } : ワイドスクリーン形式を、コンテンツを拡大せずに表示します。HD や PC にはご利用できません。
 - { **DOT BY DOT** } : PC 画像の細部が最大限に表示されます。
 - { **4:3** } : 従来の 4:3 形式で表示します。
 - { **CUSTOM ZOOM** } : 画像とエッジサブメニューで、カスタマイズズーム設定の適用を選択します。

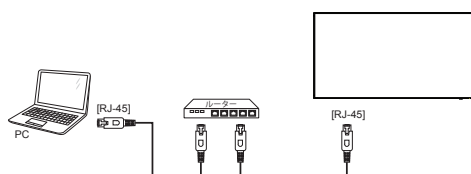
4.3. ローカルエリア ネットワークを経由してマルチメディア ファイルを再生する

ローカルエリア ネットワークを経由してファイルを再生するには、以下が必要です。

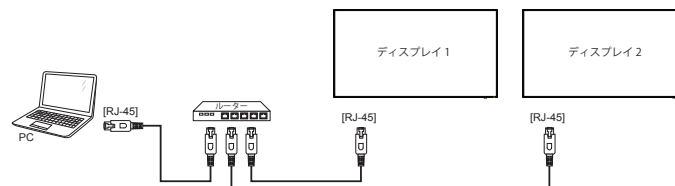
- ホームネットワーク接続。ユニバーサル プラグアンドプレイ (uPnP) 対応ルーターに接続します。
- オプション : 本製品をホームネットワークに接続するための LAN ケーブル。
- コンピュータで稼働するメディアサーバー。
- メディアサーバーを実行可能にするコンピュータのファイアウォール設定の適用。

4.3.1. ネットワークの設定

1. 本製品とコンピュータを同じホームネットワークに接続します。本製品をネットワークに接続するには、下図を参照してください。
2. コンピュータとルーターの電源を入れます。
 - 単一ディスプレイの設定



- 複数ディスプレイでの設定



注: 外部からの電氣的妨害 (例: 静電放電) により本製品が DLNA モードに戻らない場合は、ご自身で戻して頂く必要があります。

メディア共有を設定する

1. メディアファイルを共有するため、コンピュータにメディアサーバーをインストールします。以下はメディアサーバーの一例です。
 - PC 用 : Windows Media Player 11 (またはそれ以上) および TVersity
 - Mac 用 : Twonky
2. メディアサーバーを使って、コンピュータ上のメディア共有を有効にします。メディアサーバーの詳しい設定方法については、メディアサーバー元のサイトを参照して下さい。

4.3.2. DLNA-DMP の使い方

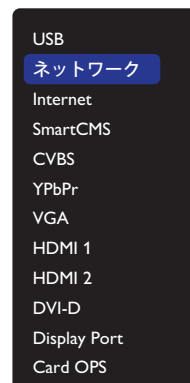
ネットワークに接続していることを確認します。

[] ボタンを押し、ネットワークの接続を表示できます。

HDMI 1 1080p60	14/05/2018 月曜日 09:32:00
Picture format	Wide screen
Picture style	Standard
Sound style	Original
Smart power	Off
Volume	20
Monitor group	1
Monitor ID	1
Model name	55BDL3102H
SWVersion	1.05
Serial no	
Temperature	33°C
Cooling fan	0 RPM
Network configuration	DHCP
IP address	0.0.0.0
Netmask	0.0.0.0
Gateway	0.0.0.0
Network name	55BDL3102H
Ethernet MAC address	00:24:67:33:50:43

画面上でファイルを再生する

1. [] ソースボタンを押して、**ネットワーク**を選択し [**OK**] ボタンを押します。

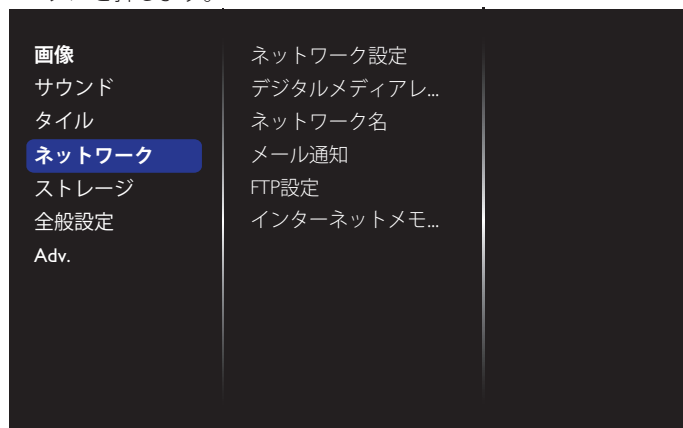


2. スクリーン上に同じルーターに接続されている全ての PC が表示されます。必要な PC を選択します。
3. [] と [] を押して再生するディレクトリとファイルを選択します。

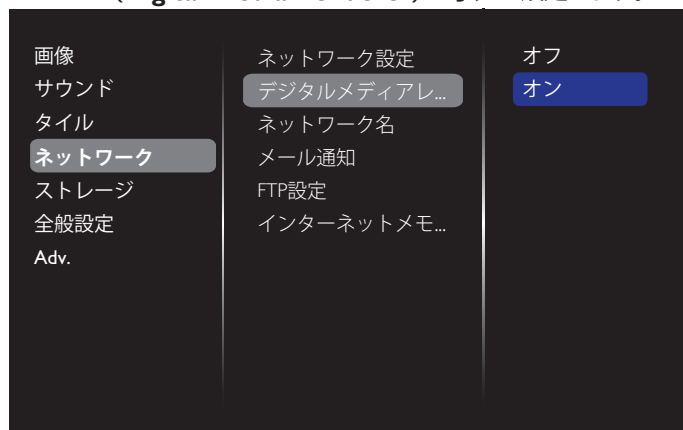
4. 同じ PC に最大 4 台までのディスプレイを接続して、同じメディアストリームを再生することができます。

4.3.3. PC から DLNA-DMR を使うには

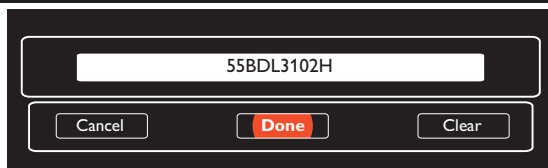
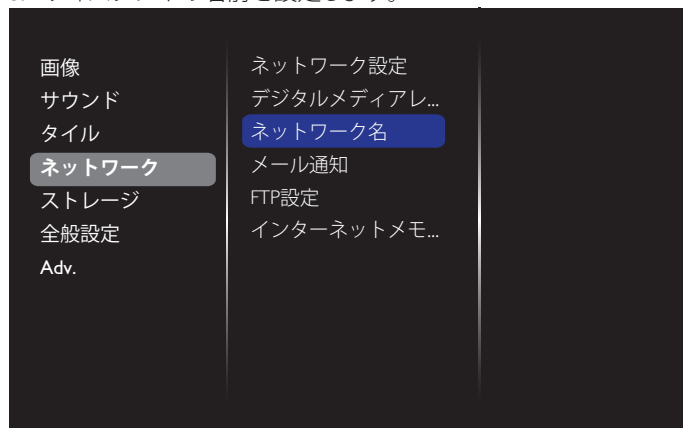
1. [**🏠**] ホームボタンを押して、ネットワークを選択し [**OK**] ボタンを押します。



2. **DMR (Digital Media Renderer)** を**オン**に設定します。



3. ディスプレイの名前を設定します。



4. [**☰**] ソースボタンを押して**ソース** メニューを開きます。**ネットワーク**を選択して [**OK**] ボタンを押します。
5. PC 上で**ネットワーク**と**共有センター**を開いて**ホームグループ**と**共有に関するオプションの選択**をクリックします。

6. メディア形式を確認します。**メディア ストリーミング オプションの選択 ...** をクリックします。
7. **共有の詳細設定**を開き、**ネットワーク探索を有効にする**を選択します。
8. 次に、メディアファイルの保存されたディレクトリに移動します。右クリックしてメディアファイルを選択します。**リモート再生**のサブメニューに、ネットワークに接続されている全てのディスプレイが表示されます。ディスプレイを選択して、再生するメディアファイルをクリックします。

ファイルを再生する

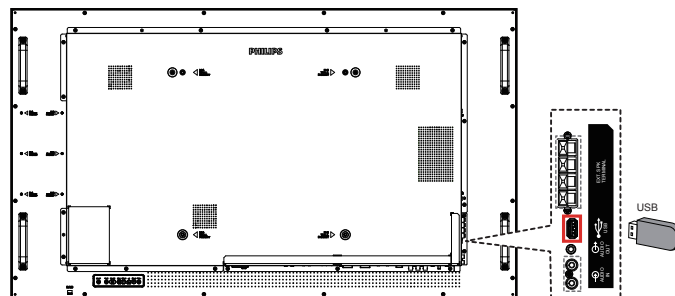
1. [**☰**] ソースボタンを押します。
2. **ネットワークを閲覧する**を選択して [**OK**] ボタンを押します。
3. コンテンツ ブラウザからファイルを選択し、**[OK]** ボタンを押して再生します。
4. 再生を操作するには、リモコン上にある **[再生]** ボタンを押します。

ヒント:

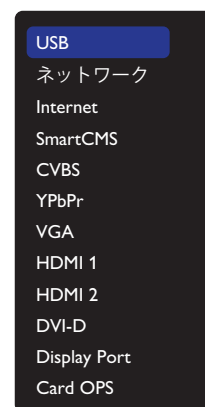
- ファイルの種類でファイルを絞り込むには、トッパーを選択します。
- **ソート**を選んで、アルバム名やアーティスト名、その他のフィールド毎に並び替えます。
- 接続されていないメディアサーバーを非表示にするには、**[🗑️]** オプションボタンを押します。その後、**オフライン サーバーをクリア**を選択して [**OK**] ボタンを押します。

4.4. USB デバイスのマルチメディア ファイルを再生する

1. 本製品の USB ポートに USB デバイスを接続します。



2. [**☰**] ソースボタンを押して、**USB** を選択し [**OK**] ボタンを押します。



3. 接続されている USB デバイスが自動的に検出され、中にある再生可能な全てのファイルが 3 つのタイプに自動的に分けられます。**🎵音楽**、**🎬ムービー**、そして**📷写真**です。

4. スクリーンの最上層に戻るには、[戻る] ボタンを押します。ファイルのタイプを選択するには [←] または [→] ボタンを押します。再生リストを表示するには [OK] ボタンを押します。
5. 必要なファイルを選択します。再生するには [OK] ボタンを押します。
6. スクリーン上の説明に従って再生オプションを操作します。
7. [再生] ボタン (■ || ◀▶ ▶▶) を押して再生を操作します。

4.5. 再生オプション

4.5.1. 音楽ファイルの再生

1. トップバーの  **Music** を選択します。



2. 曲を一曲選択して [OK] ボタンを押します。
 - フォルダー内にあるすべての曲を再生するには、音楽ファイルを選択します。その後 [] を押して **Play All (すべて再生)** を実行します。
 - 曲をスキップするには、[↑] または [↓] ボタンを押します。
 - 曲を一時停止するには [OK] ボタンを押します。再生を再開するには、もう一度 [OK] ボタンを押します。
 - 前後の 10 秒間をスキップするには [←] または [→] ボタンを押します。
 - 再生順を変更するには、[◀◀] または [▶▶] ボタンを押します。速度を切り替えるには繰り返して押し続けます。
 - 音楽を停止するには [■] ボタンを押します。

音楽オプション

音楽の再生中に [] OPTIONS (オプション) ボタンを押し、その後 [OK] ボタンを押してオプションを選択します。

- {Shuffle} (シャッフル): 曲のランダム再生を有効または無効にします。
- {Repeat} (リピート): 曲またはアルバムを繰り返して再生するには {Repeat} (リピート) を選択し、一回のみ再生するには {Play once} (一回のみプレイ) を選択します。

注記: 曲の情報 (例: 曲名、アーティスト名、長さ) を表示するには、曲を選択して [i] INFO ボタンを押します。情報を非表示にするには、もう一度 [i] INFO ボタンを押します。

4.5.2. 動画ファイルの再生

1. トップバーの  **Movie** を選択します。



2. 動画を選択して [OK] ボタンを押します。
 - フォルダー内にあるすべての動画を再生するには、動画ファイルをひとつ選択します。その後 [] を押して **Play All** を実行します。
 - 動画を一時停止するには [OK] ボタンを押します。再生を再開するには、もう一度 [OK] ボタンを押します。
 - 前後の 10 秒間をスキップするには [←] または [→] ボタンを押します。
 - 再生順を変更に検索するには、[◀◀] または [▶▶] ボタンを押します。速度を切り替えるには繰り返して押し続けます。

- 動画を停止するには [■] ボタンを押します。

Movie オプション

ビデオの再生中に [] OPTIONS ボタンを押し、その後 [OK] ボタンを押してオプションを選択します。

- {Subtitles} (字幕): 表示可能な字幕を設定します。
- {Subtitle Language} (字幕言語): 表示可能な字幕の言語を選択します。
- {Shuffle} (シャッフル): 動画ファイルのランダム再生を有効または無効にします。
- {Repeat} (リピート): 動画ファイルを繰り返し再生するには {Repeat} (リピート) を選択し、動画ファイルを一回のみ再生するには {Play once} (一回のみプレイ) を選択します。
- {Status}: 動画の情報 (例: Title / Size / Date / Sound mode) を表示。

4.5.3. 写真ファイルの再生

1. トップバーの  **Photo** を選択します。



2. 小さく表示された写真を選んで [OK] ボタンを押します。

スライドショーを開始する

フォルダーに写真が複数ある場合は、写真を一枚選択します。その後 [] を押して **Play All** を実行します。

- 前後の写真をスキップするには [←] または [→] ボタンを押してから [OK] ボタンを押します。
- スライドショーを停止するには [■] ボタンを押します。

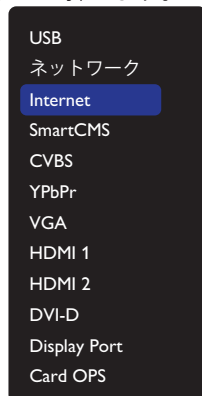
スライドショーオプション

スライドショーの再生中に [] OPTIONS (オプション) ボタンを押し、その後 [OK] ボタンを押してオプションを選択します。

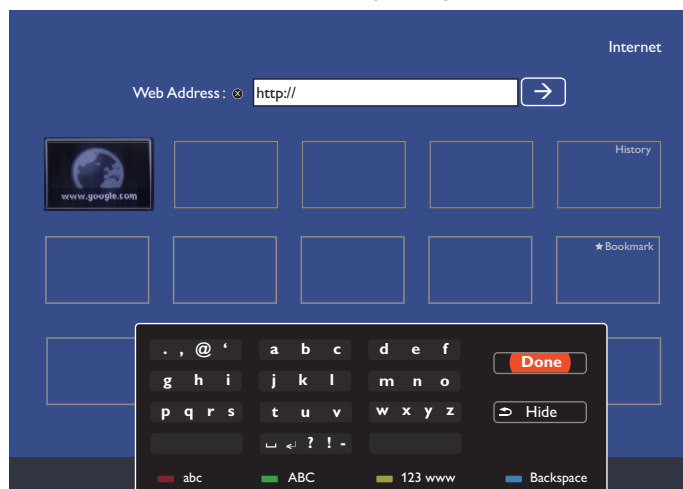
- {Shuffle} (シャッフル): スライドショーでの画像のランダム表示を有効または無効にします。
- {Repeat} (リピート): スライドショーを繰り返し鑑賞する場合は {Repeat} (リピート) を選択し、一回だけ鑑賞する場合は {Play once} (一回のみ再生) を選択します。
- {Slideshow Time} (スライドショー時間): スライドショーでの写真の表示時間を設定します。
- {Slideshow Transitions} (スライドショートのランジション): スライドが切り替わる時のスタイルを設定します。

4.6. Opera ブラウザ (HTML5) の使い方

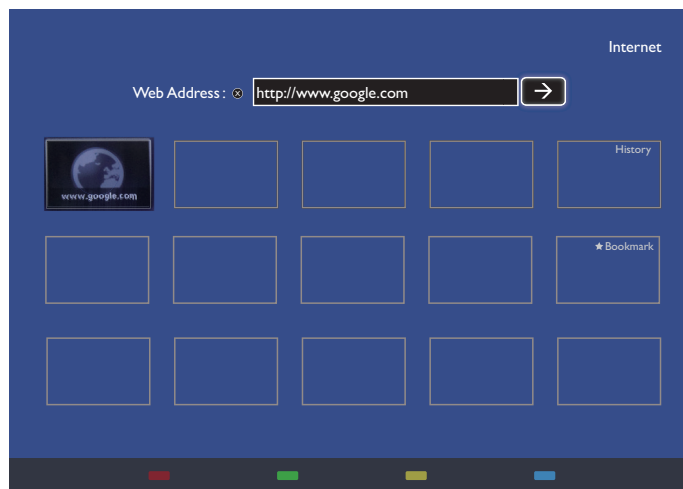
1. [] ソースボタンを押して、**Internet (インターネット)** を選択し [OK] ボタンを押します。



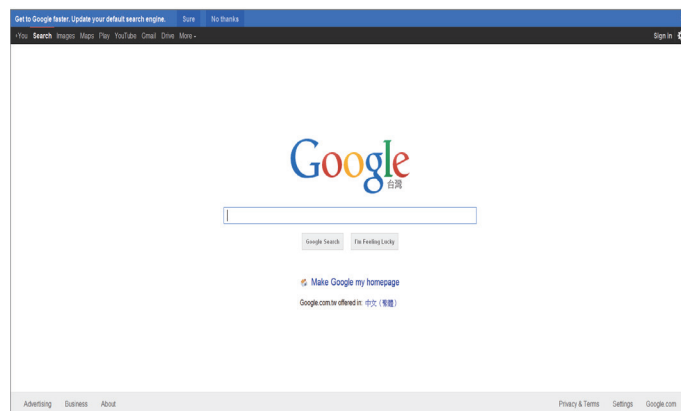
2. カーソルを URL アドレスバーまで移動させます。[OK] ボタンを押すとスクリーン上にキーボードが表示されます。カーソルを動かして URL アドレスを入力します。URL アドレスの入力が終了したら **Done (完了)** を選びます。



3. カーソルを「→」アイコンに移動して [OK] ボタンを押します。



4. ウェブサイトが表示されます。

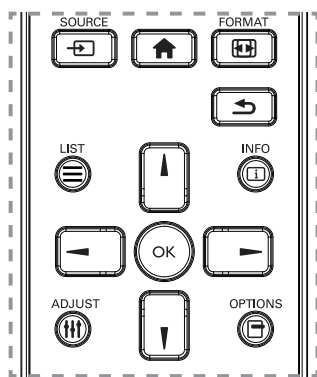


メモ：

- Opera ブラウザ は FLASH 形式に対応していません。
- ブラウザはビデオソースではありません。本ディスプレイを再起動した後は、ウェブサイトの画面には戻りません。

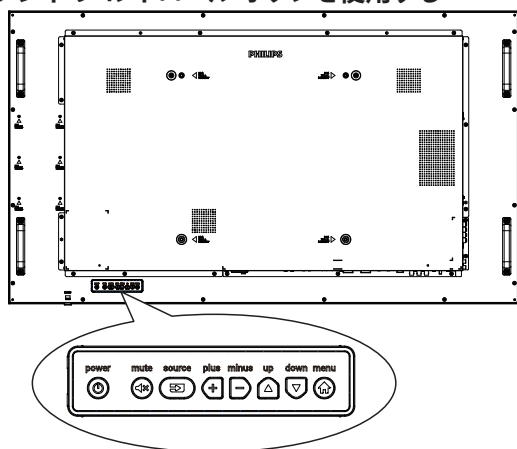
5. 設定を変更するには

リモコンを使用する



1. OSD メニューを表示するには [] ホームボタンを押します。
2. [] [] [] または [] ボタンを押してメニュー項目を選択、または値を調整します。[] ボタンを押して決定します。
3. 前のメニュー層に戻るには [] 戻るボタンを押します。
4. OSD メニューを退出するには [] ホームボタンを押します。

ディスプレイのコントロール ボタンを使用する

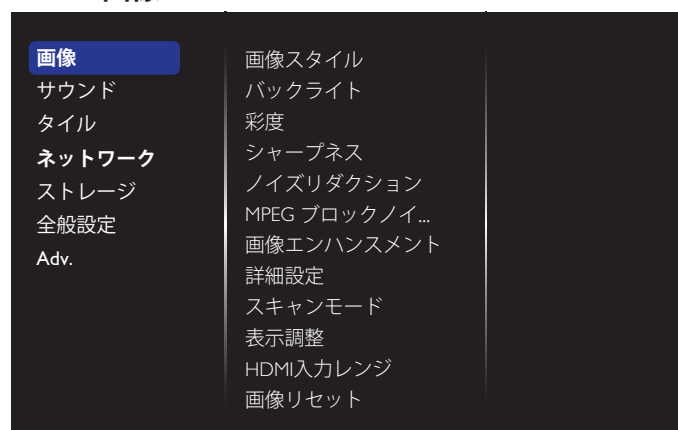


1. OSD メニューを表示するには [**MENU**] ボタンを押します。
2. [**上**]、[**下**]、[**プラス**] または [**マイナス**] ボタンを押して、メニュー項目を選択するか、その値を調整してください。
3. [**ソース**] ボタンを押して、選択したメニューを確定し、サブメニューに入ります。
4. OSD メニューを退出するには [**MENU**] ボタンを押します。

5.1. 設定

[] ホームボタンを押します。

5.1.1. 画像



画像スタイル

好みの画像設定を選びます。

バックライト

本製品のバックライトの明るさを調節します。

彩度

画像の彩度を調整します。

シャープネス

画像の鮮明さを調整します。

ノイズリダクション

画像のノイズ除去の度合いを選びます。

MPEG ブロックノイズリダクション

デジタル画像のトランジションやぼやけを滑らかにします。

画像エンハンスメント

周囲の画素に馴染むように全ての画素を微調整することで、鮮明で高解像度な画像を作成します。

- { **高度な鮮明度** } : 優れた画像鮮明度で、特に画像の線や輪郭に有効です。
- { **ダイナミックコントラスト** } : 画像の暗いエリア、中位のエリア、明るいエリアの詳細をダイナミックに補強します。
- { **カラーエンハンスメント** } : 色彩の鮮明さと詳細をダイナミックに補強します。

詳細設定

ガンマ、色合い、動画のコントラストなどの詳細設定にアクセスします。

- { **ガンマ** } : 画像の輝度やコントラストに関連した非線形性の設定を調節します。
オプションは、{ **自然** }、{ **S ガンマ** }、{ **2.2** }、{ **2.4** }、{ **D-image** } です。
注：{ **D-image** } は、X 線写真に対する DICOM 曲線をシミュレートするものです。
- { **色温度** } : カラーバランスを変更します。
- { **カスタム色合い** } : カラーバランスの設定をカスタマイズします。{ **色温度** } → { **カスタム** } が選択されている場合のみ使用できます。
- { **ビデオコントラスト** } : 動画のコントラストを調整します。
- { **輝度** } : スクリーンの明るさを調整します。
- { **色相** } : スクリーンの色合いを調整します。

スキャンモード

本製品の画像領域を変更します。

表示調整

- ・ { **画像形式** } : 画像フォーマットを変更します。
- ・ { **ズーム** } : 画像の縦と横のサイズを同時に拡大します。
- ・ { **水平ズーム** } : 画像の水平サイズのみを拡大します。
- ・ { **垂直ズーム** } : 画像の垂直サイズのみを拡大します。

注: 画像形式が CUSTOM ZOOM に設定されている場合のみ、ズーム、水平ズームおよび垂直ズームが機能します。

画像形式に関する記述は 15 ページを参照してください。

HDMI 入力レンジ

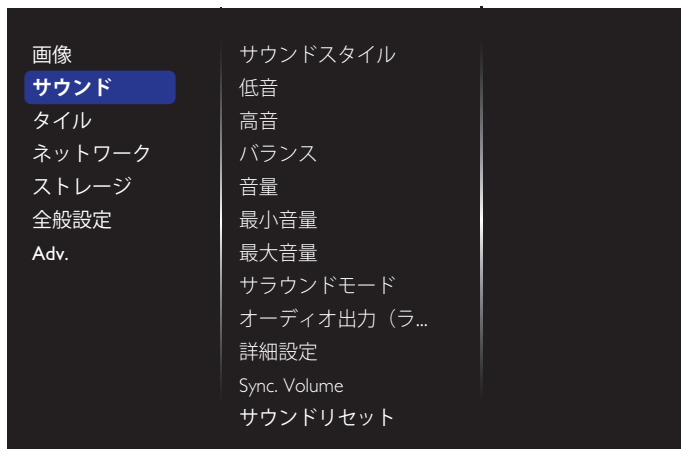
HDMI ビデオ形式の色範囲

- ・ { **自動** } : 自動的に HDMI ビデオ形式の色範囲。
- ・ { **リミット** } : HDMI ビデオ形式のリミット範囲を選択する。
- ・ { **フル** } : HDMI ビデオ形式のフル範囲を選択する。

画像リセット

画像設定を工場出荷時の設定に戻します。

5.1.2. サウンド



サウンドスタイル

お好みの音声設定にアクセスします。

低音

低音の増減を調整します。

高音

高音の増減を調整します。

バランス

左右の音声出力のバランスの強弱を調整します。

音量

ボリュームの増減を調整します。

最小音量

最小音量を設定します。

最大音量

最大音量を設定します。

サラウンドモード

オーディオパフォーマンスのサラウンド効果を設定します。

オーディオ出力 (ライン出力)

音声出力の音量を調節します。

詳細設定

詳細設定にアクセスして視聴体験を向上させます。

- ・ { **オートボリューム** } : 突発的な音量変更の軽減を有効にします。
- ・ { **スピーカー設定** } : 内部スピーカーの電源をオンまたはオフにします。
- ・ { **クリアサウンド** } : 音質を向上させます。

- ・ { **オーディオ出力形式** } : デジタル音声出力コネクタを通して、音声出力タイプを選びます。(HDMI のみ)
- ・ { **オーディオ出力遅延** } : ディスプレイに表示されている画像を、接続したホームシアターからの音声と自動的に同期させます。
- ・ { **音声出力オフセット** } : 音声出力の遅延に関する設定を調節します。{ **オーディオ出力遅延** } が有効になっている場合に使用できます。

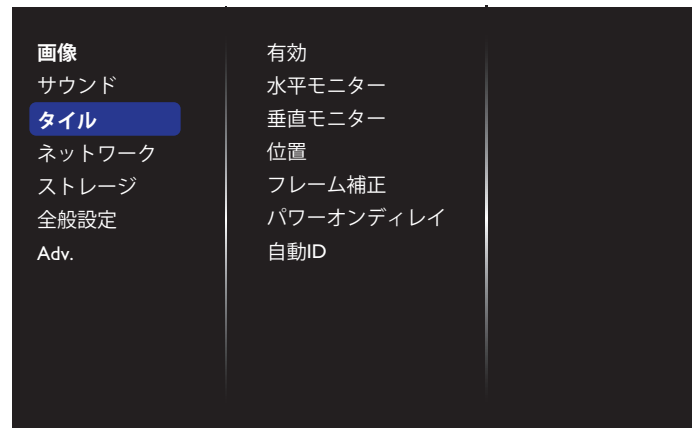
Sync. Volume (同期音量)

同期の { **オン** } または { **オフ** } を選択します。音量機能。{ **オン** } に設定して、内部スピーカーとライン出力の音量を同期します。{ **オフ** } に設定して、内部スピーカーとライン出力の音量をそれぞれ調整します。

サウンドリセット

デフォルト設定にリセットします。

5.1.3. タイル



この機能を使うと、最大 225 台のディスプレイ (縦に最大 15 台、横に最大 15 台) からなるひとつの大型スクリーン配列 (ビデオウォール) で作成することができます。

有効

タイル機能の { **オン** } または { **オフ** } を選択します。{ **オン** } の場合、本製品は { **水平モニター** }、{ **垂直モニター** }、{ **位置** }、および { **フレーム補正** } を有効にします。

水平モニター

横列のディスプレイを調節します。

垂直モニター

縦列のディスプレイを調節します。

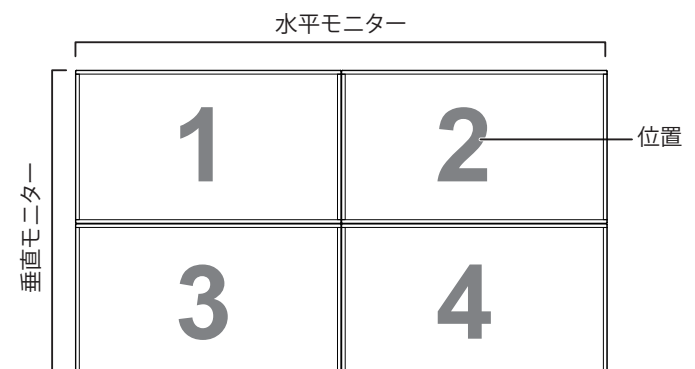
位置

スクリーン配列でディスプレイの位置を調節します。

例: 2 x 2 の画面マトリックス (ディスプレイ 4 台)

水平モニター = ディスプレイ 2 台

垂直モニター = ディスプレイ 2 台



例: 5 × 5 の画面マトリックス (ディスプレイ 25 台)

水平モニター = ディスプレイ 5 台

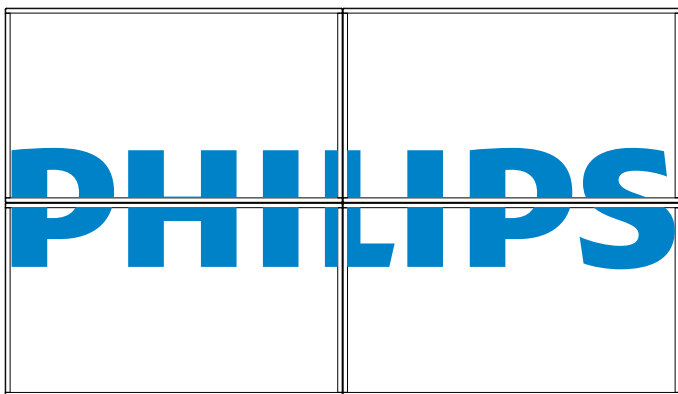
垂直モニター = ディスプレイ 5 台

水平モニター					位置
1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	

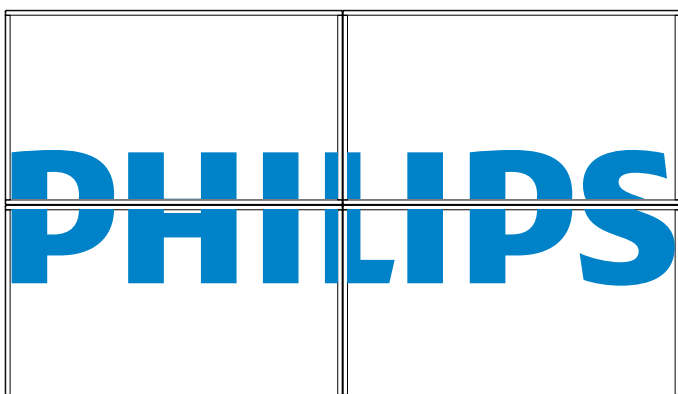
フレーム補正

フレーム補正機能のオンまたはオフを選択します。{オン} を選択した場合、画像を正確に表示するためにディスプレイは画像を調整してディスプレイのベゼル幅を補正します。

{オン}



{オフ}



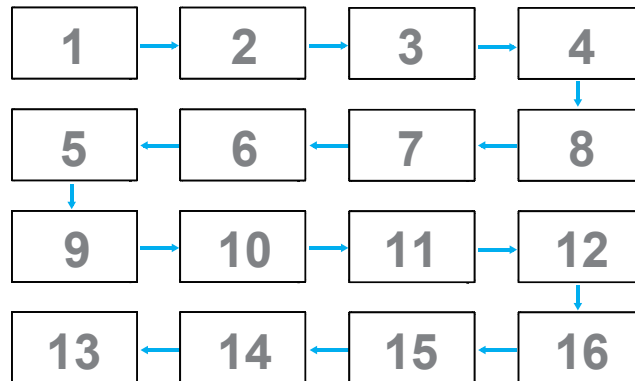
パワーオンディレイ

パワーオンディレイ時間 (秒) を調節すると、複数のディスプレイが接続されている場合に、ID 番号ごとに各ディスプレイの電源を順番に入れることができます。

自動 ID

設定機能により、{水平モニター} 設定に応じて接続されたディスプレイの {モニタ ID} を設定することができます。

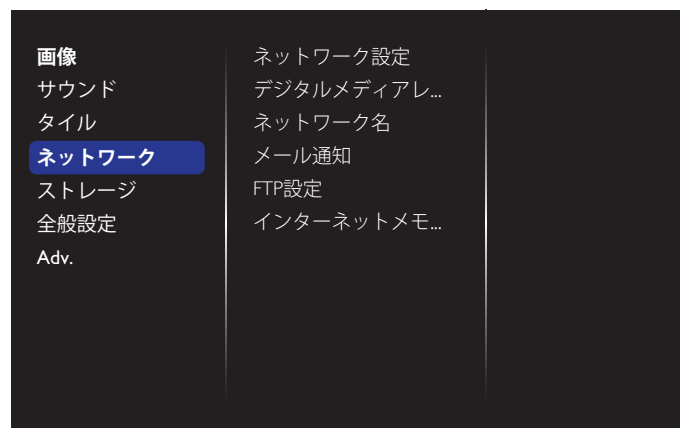
例: 水平モニターを 4 として設定します



注: この機能を使用するには、すべてのディスプレイを RS-232 ケーブルでシリアル接続し、そのネットワーク制御ポートを RS-232 に設定します。

注: DP 1.2 接続に対してこの機能を使用するために、最大解像度は、1920x1080/60Hz @ 4 セットのみをサポートします。4Kx2K/30Hz 解像度の場合、2 セットの接続のみをサポートします。

5.1.4. ネットワーク



ネットワーク設定

{ネットワーク構成}: 本製品のネットワーク リソースへのアドレスの割り当て方を選択します。

{DHCP と自動 IP} (推薦) または {固定 IP} を選択できます。

デジタルメディアレンダラ - DMR

ネットワークを経由して、接続されたデバイスからマルチメディア ファイルを受信します。

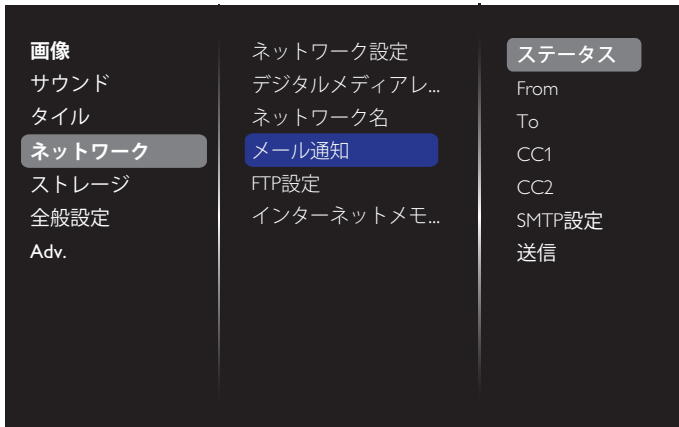
ネットワーク名

複数のディスプレイが接続されている場合、各ディスプレイの名前を変更して識別しやすくなります。

名前を入力するには、スクリーン上のキーボードまたはリモコン上のキーパッドを使用します。

メール通知

メール通知は、温度および入力ソース信号イベントをサポートします。これはメールを送信し、温度が高すぎる、または、信号を喪失した時に通知します。



- {From} (発信元): ご自身のメールアドレスを入力します。
- {To} (宛先): メールを送信する 1 番目の受信者のメールアドレスを「To」フィールドに入力します。
- {CC1}: メールを送信する 2 番目の受信者のメールアドレスを「CC1」フィールドに入力します。
- {CC2}: メールを送信する 3 番目の受信者のメールアドレスを「CC2」フィールドに入力します。
- {SMTP 設定}: アカウントの追加と削除、または、既存の接続設定を変更します。
- {Username} (ユーザー名): メールアカウントです。
- {Password} (パスワード): このメールアカウントのパスワードです。
- {SMTP サーバー}: メールサーバーの URL です。
- {送信}: 自分自身にテストメールを送信します。

注:

- この機能は、有効なインターネット接続を必要とします。
- SMTP アドレスは、smtp:// で始まります。例えば、smtp://smtp.example.com です。
- すべてのメールを送信するために、外部 SMTP リレーの使用に関する勤務先の社内セキュリティ方針を確認してください。許可されない場合があります。

FTP 設定

アカウントの追加と削除、または、既存の接続設定を変更します。

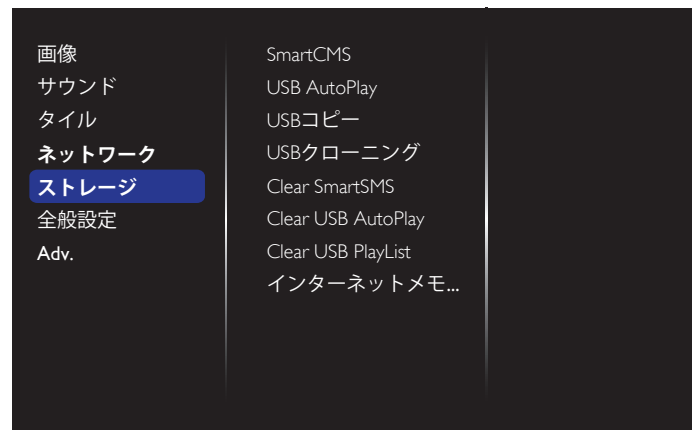
- {SmartCMS}: SmartCMS 用の FTP ユーザー名とパスワードを設定します。
- {USB AutoPlay}: (USB 自動再生) USB 自動再生 用の FTP ユーザー名とパスワードを設定します。

注: SmartCMS および USB 自動再生 および USB Playlist 機能を使用して、USB コピーの代わりに FTP により、メディアファイルをアップロードすることができます。

インターネットメモリを消去

クッキー、ブックマーク、履歴一覧やオートフィルで使用したデータをすべて消去します。

5.1.5. ストレージ



SmartCMS

SmartCMS 用のコンテンツのデフォルトストレージの位置を選択します。

- { 内部 }: 内部ストレージをデフォルトとして設定します。
- { 外部 }: 外部ストレージをデフォルトとして設定します。

USB AutoPlay (USB 自動再生)

USB 自動再生 用のコンテンツのデフォルトストレージの位置を選択します。

- { 内部 }: 内部ストレージをデフォルトとして設定します。
- { 外部 }: 外部ストレージをデフォルトとして設定します。

USB コピー

- USB コピーは、内部メモリと USB フラッシュデバイス間でメディアファイルを転送することができます。また、インターネットに対する URL をインポートする簡単な方法を提供します。
- { インポート }: USB フラッシュデバイスから内部メモリにメディアファイルと URL リストをインポートします。
- { エクスポート }: 内部メモリから USB フラッシュデバイスにメディアファイルと URL リストをインポートします。

USB クローニング

ユーザー設定をインポート / エクスポートします。

- { インポート }: ユーザー設定を USB フラッシュデバイスからインポートします。
- { エクスポート }: ユーザー設定を USB フラッシュデバイスにバックアップします。

Clear SmartCMS (SmartCMS の消去)

USB SmartCMS を削除します。

Clear USB AutoPlay (USB AutoPlay の消去)

USB AutoPlay 設定を削除します。

Clear USB Playlist (USB Playlist の消去)

USB Playlist を削除します。

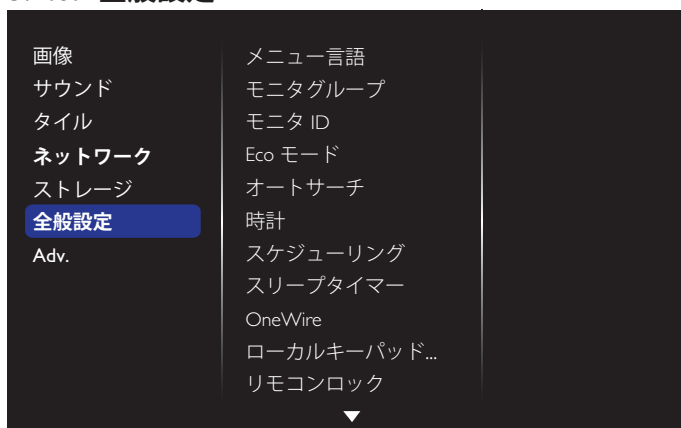
インターネットメモリをクリアする

音楽および写真を含む内部ストレージ上のすべてのデータを削除します。

注:

- AutoPlay 用の USB コピーのインポート機能を使用する前に、新しいフォルダーを作成し、それに「philips」と名前を付けます。すべてのメディアファイルを AutoPlay 用の特定フォルダーに入れます。
- URL 用の USB コピーのインポート機能を使用する前に、新しいテキストドキュメントを作成し、それに「url_schedulinglist.txt」と名前を付けます。URL を入力する時は、次の形式に従わなければなりません: 「スケジューリング番号、URL アドレス」。
- 例えば、スケジュール 1 とスケジュール 2 の URL をそれぞれ www.google.com と tw.yahoo.com に設定します。
1、www.google.com 2、tw.yahoo.com

5.1.6. 全般設定



メニュー言語

OSD メニューで使用する言語を選びます。

モニタグループ

グループ範囲を 1 から 255 の値に調節します。デフォルト設定は 1 です。

モニタ ID

RS232 接続経由で本製品を操作するために ID 番号を調節します。本製品を複数台接続する場合には、各ディスプレイに一意的 ID を割り当てる必要があります。モニターの ID 番号範囲は 1 ～ 255 の間です。デフォルト設定は 1 です。

Eco モード

自動的に消費電力を低減するように本製品を設定します。

オートサーチ

選択すると、本製品で利用可能な信号ソースを自動で検出して表示します。

時計

本製品の内部時計に設定された現在の日付と時刻を設定します。

スケジューリング

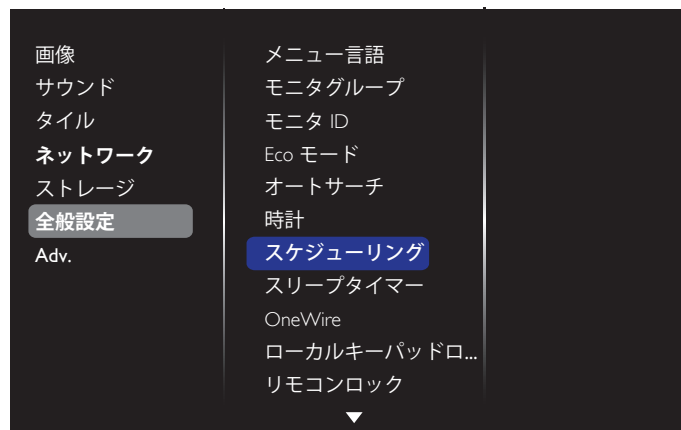
この機能を使うと、最大 7 つの異なるスケジュール間隔で本製品を作動することができます。

以下の設定が可能です。

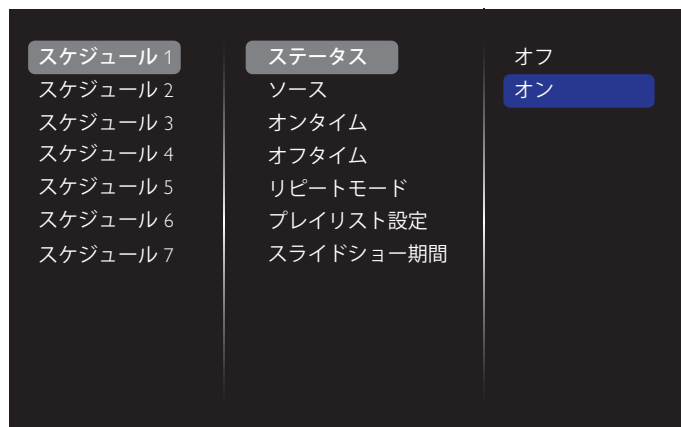
- スケジュールされた各稼働期間で、本製品がどの入力ソースを使用するか。
- 本製品を電源オン、電源オフにする時間。
- 本製品をアクティブにする曜日。

注：

- この機能を使用する前に、{ 時計 } メニューで現在の日付と時刻を設定することをおすすめします。
- { 全般設定 } メニューにある { 時計 } オプションを変更した後、この { スケジューリング } をもう 1 度設定する必要があります。



1. 7 つのスケジュールを設定できます。**ステータス**で**オン**を選択します。



2. **ソース**で入力ソースを選びます。

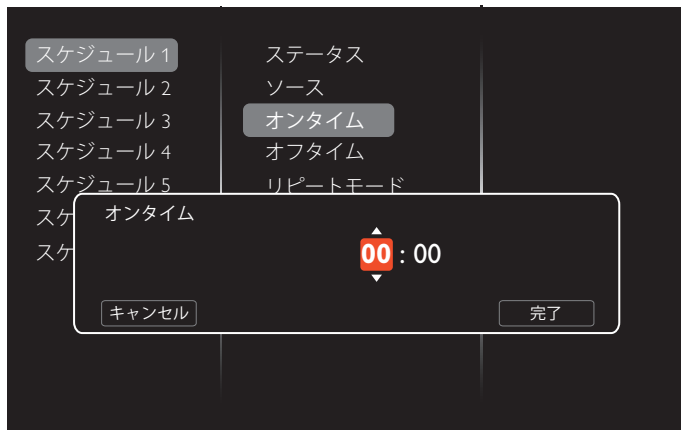
{ ソース } → { USB Playlist } (USB プレイリスト) が選択されます。プレイリストを設定する必要があります。

{ ソース } → { Internet } (インターネット) が選択されます。URL アドレスを設定する必要があります。

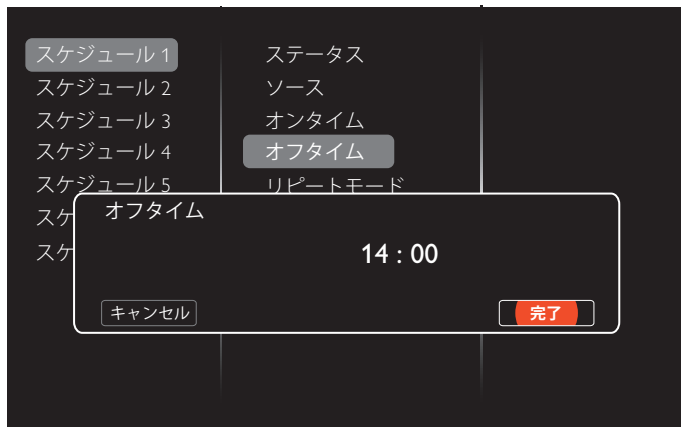
{ ソース } → { USB AutoPlay } (USB 自動再生) が選択された場合。USB に「philips」と名前を付けたフォルダーを作成し、すべてのメディアファイルを AutoPlay 用の特定フォルダーに入れる必要があります。



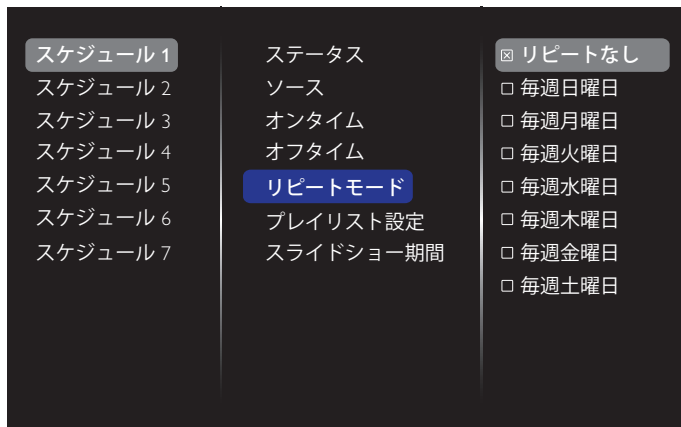
3. オンタイムを設定します。



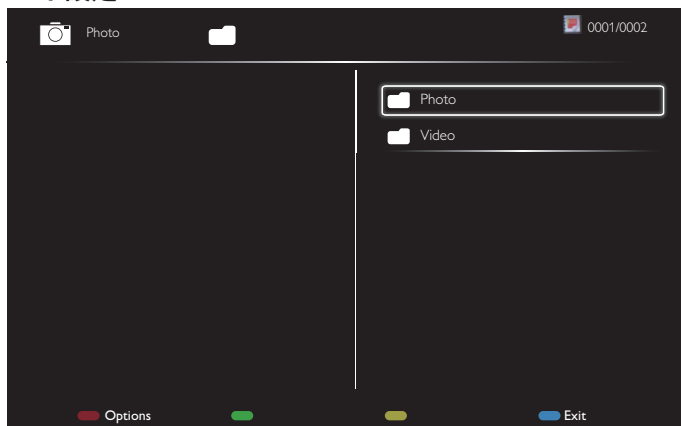
4. オフタイムを設定します。



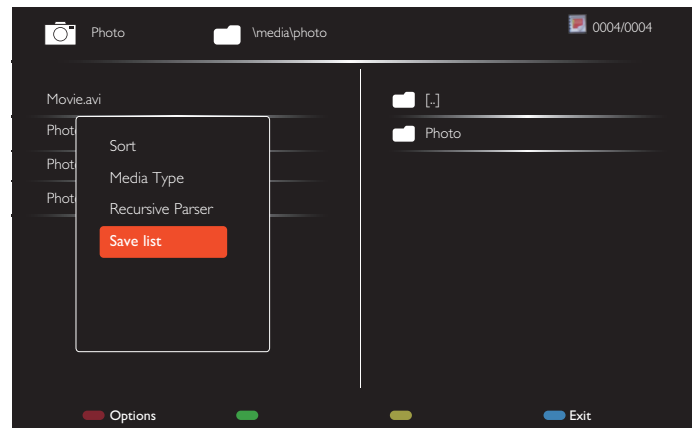
5. リピートモードを選択します。



6. {ソース} → {USB プレイリスト} が選択されます。プレイリスト設定に移動します。



- [▲][▼] ボタンを押してファイルを選択します。
 - [←][→] ボタンを押して、プレイリストとファイルマネージャーとを切り替えます。
 - [OK] ボタンを押してプレイリストを設定または消去します。
7. プレイリストを保存するには、[] を押して **Save list** を選択します。



注：

- それぞれのプレイリストは最大 30 ファイルまで対応しています。
- {工場出荷時の設定} を選択してもプレイリストは消去されません。ファイルを手動で削除するか、USB 内にある usb_schedulinglist.txt を削除する必要があります。

スリープタイマー

指定した時間に本製品の電源を切ります。

OneWire

本製品の HDMI-CEC 規格に対応したデバイスを HDMI 端子で接続し、同じリモコンを使って操作します。

ローカルキーパッドロック

本製品のキーボード (コントロールボタン) 機能を有効または無効にします。

- {ロック解除}: キーボード機能を有効にします。
- {すべてロック}: 全てのキーボード機能をロックします。
- {音量以外すべてロック}: [ー] および [+] ボタン以外の全てのキーボード機能を無効にします。
- {電源以外すべてロック}: [⏻] ボタン以外の全てのキーボード機能を無効にします。
- {音量と電源以外すべてロック}: [ー], [+] および [⏻] ボタン以外の全てのキーボード機能を無効にします。

リモコンロック

リモコンのボタン機能を有効または無効にします。

- {ロック解除}: キーボード機能を有効にします。
- {すべてロック}: 全てのキーボード機能をロックします。
- {音量以外すべてロック}: [ー] および [+] ボタン以外の全てのキーボード機能を無効にします。
- {電源以外すべてロック}: [⏻] 電源ボタン以外の全てのキーボード機能を無効にします。
- {音量と電源以外すべてロック}: [ー], [+] および [⏻] 電源ボタン以外の全てのキーボード機能を無効にします。

注： **ローカルキーパッドロック**または**ロック解除**のロック機能を無効にするには、リモコンの [🏠] ボタンと **1998** を押します。

ピクセルシフト

ビデオ入力ソースに対して、30 秒間本製品を使用しなかった場合に生じる「焼き付き」や「残像」からディスプレイを保護するために、**{オン}** を選択してスクリーンのイメージを自動的に動かすことができます。

スマートパワー

動的電力消費および画像コントラストを最適化するため、バックライトのレベルを選択します。

オプションは次の通りです。**{オフ}** **{標準}** **{中}** **{高}** から選択します。

Wake on Lan

{オン} を選択すると、ネットワーク経由でディスプレイをオンにできます。

スイッチオン状態

次に電源コードを取り付けた際に表示されるディスプレイの状態を選びます。

- **{オン}** - 電源コードを取り付けた後、画面はオンの状態になります。
- **{スタンバイ}** - 電源コードを取り付けた後、画面はスタンバイの状態になります。
- **{最新ステータス}** - 電源コードを外して再び取り付けると、ディスプレイは前の電源状態 (オン / オフ / スタンバイ) に戻ります。

光センサ

{オン} を選択すると、画面はバックライトを自動的に調節します。

電源 LED ライト

インジケータをオフにするには **{オフ}** を選択します。

ロゴ表示

{オフ} を選ぶと、本製品に電源を入れた時に **PHILIPS** ロゴが表示されなくなります。

オプションは、**オフ**、**オン**、および **ユーザー** です。

注：ユーザーオプションの場合、ロゴファイル (*.png) を USB フラッシュデバイスにコピーし、それに「WelcomeLogo.png」と名前を付ける必要があります。その後、ストレージに移動し、USB コピーを選択し、インポートを選んで、[OK] を押します。

APM

{オン} を選択します。信号が存在しない場合には、本製品の電源が自動的にオフになります。

ソース通知

[] **電源** ボタンを押して本製品をスタンバイモードからオンにしたり入力信号を変更した場合には、インフォメーション OSD がスクリーンの左上隅に表示されます。

この機能をオフにするには **{オフ}** を選択します。

DisplayPort Ver. (DisplayPort バージョン)

DisplayPort バージョンを 1.1a または 1.2 に設定します。この設定は DisplayPort の入力と出力でのみ有効です。

1.1a: DisplayPort バージョンを 1.1a (デフォルト) に切り替えます。

DisplayPort 出力は DisplayPort 入力のクローンです。

1.2: DisplayPort バージョンを 1.2 に切り替え、MST (マルチストリーム移送) をサポートします。

注： DisplayPort ソースの下で画面が暗くなったり、異常な状態になった場合、1.1a に切り替え、電源を入れ直してください。

冷却ファン

冷却ファンを常に回しておくには **{オン}** を選択します。**{オート}** を選択すると、ディスプレイの温度に応じて冷却ファンの電源がオンまたはオフになります。

注：

- デフォルトの **{オート}** オプションでは、温度が 60° C (140° F) に達すると冷却ファンが回り始めます。
- 温度が 3 分以上 70° C (158° F) を超過し、温度警告メッセージが画面に表示された 10 秒後、赤と緑の LED ライトが点滅し、ディスプレイは自動的にシャットダウンします。

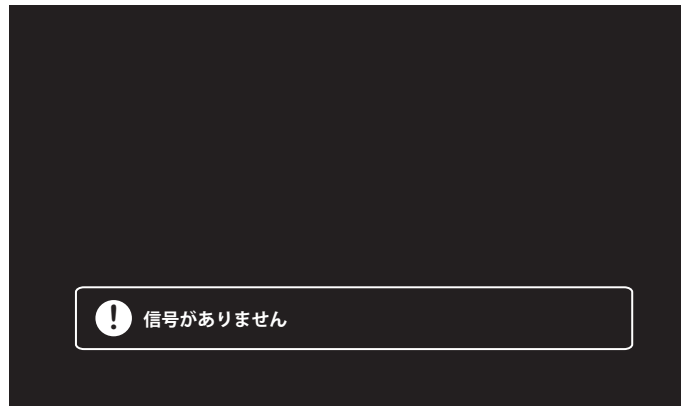
ネットワーク制御ポート

RS232 コントロールフォーム Card OPS または PD セットの組み込み RS232 を選択します。

Cust No Signal (カスタム信号なし)

{オン} を選択して、入力信号がないときに表示する画像を定義します。

{オフ}：入力信号がないとき、ディスプレイに「信号がありません」と表示されます。



{オン}： 1. 入力信号がないとき、デフォルトで「CustWelcomeLogo.png」を表示します。
2. カスタム画像を表示するには、カスタム画像の名前を CustWelcomeLogo.png に変更してください。次に、OSD メニュー => ストレージ => USB コピー => CustWelcomeLogo.png をインポートを設定します



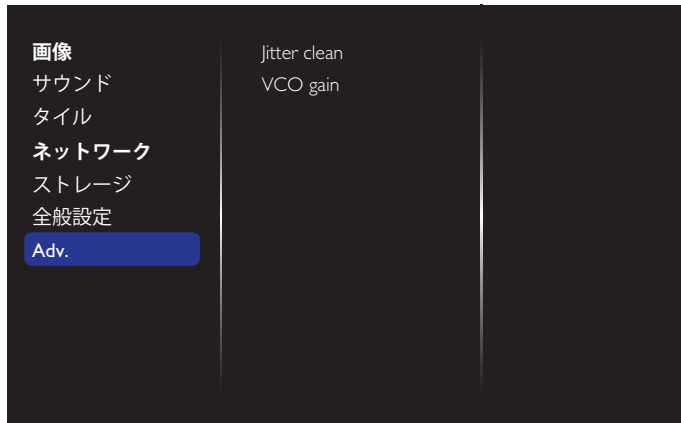
Welcome to xxxxxx!

工場出荷時の設定

カスタマイズされた全ての設定を工場出荷時の設定に戻します。

5.1.7. Adv.(詳細)

ここでは、画質を改善するために、HDMI および DVI 設定を行うことができます。



Jitter clean (ジッタ除去)

HDMI および DVI 信号の品質を改善するために、ジッタ除去機能のオン/オフを切り替えます。デフォルト設定は On です。

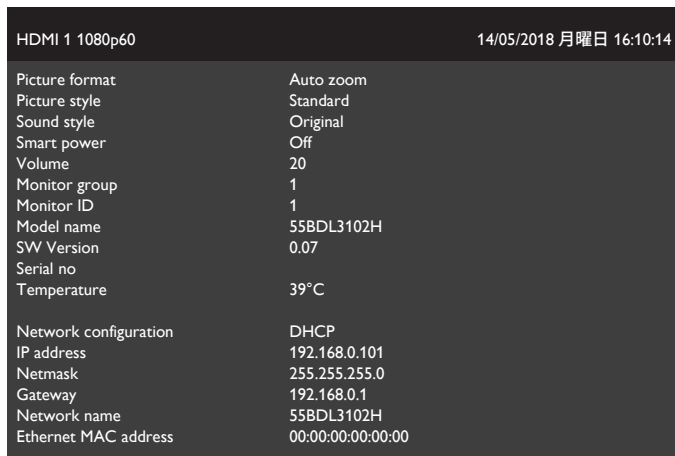
VCO gain (VCO ゲイン)

自動または手動でVCO ゲインを調整します。デフォルト設定は AUTO です。

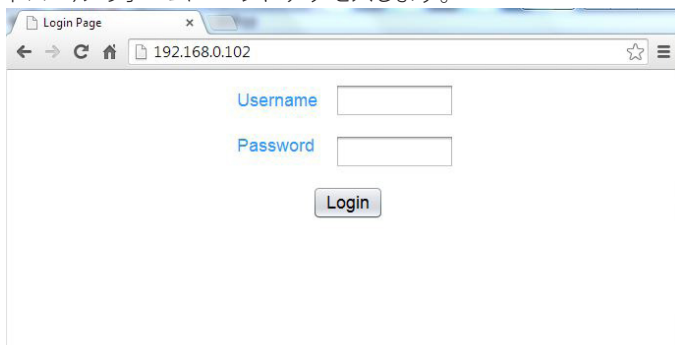
注:HDMI 入力からの信号が不安定で、画像を喪失する場合、良好な画像を得るためにVCO ゲインを調整することができます。

5.1.8. ウェブコントロール

A. ネットワークに接続していることを確認します。情報ボタンをクリックし、ネットワークの接続を表示できます。

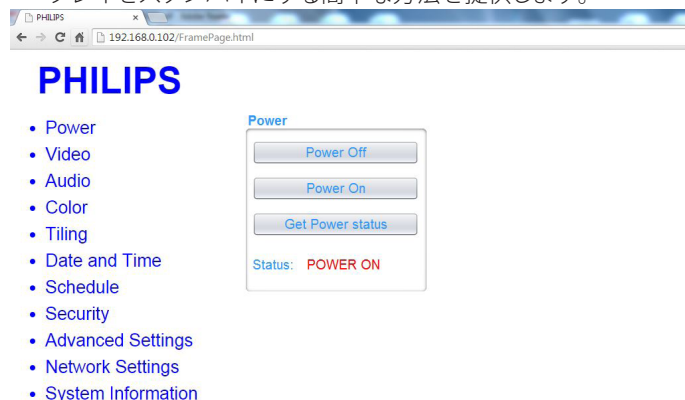


本製品 に接続したコンピュータで、まず、ウェブブラウザを開きます。そして、ウェブアドレスフィールドにネットワーク管理用の 本製品のアドレス (192.168.0.101) を入力し、Enter を押して、ウェブコントロールのホームページにアクセスします。



注: デフォルトユーザー名は admin、パスワードは 1234 です。

B. ウェブコントロールのデフォルトメインページは電源ページです。これは、ディスプレイをオンに切り替えたり、または、ディスプレイをスタンバイにする簡単な方法を提供します。



Ver.0.103

This site best viewed with Microsoft Internet Explorer @ 1920 x 1080 screen size.

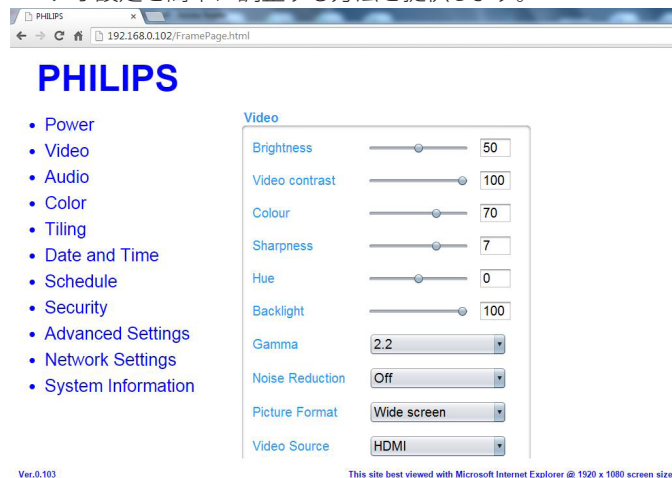
電源オフ: ディスプレイをスタンバイにします。

電源オン: ディスプレイをオンにします。

電源ステータスの取得: このボタンをクリックして、ディスプレイのステータスを取得します。

注: 電源オン機能は、Eco モードをノーマルに設定した後でのみサポートされます。

C. ビデオをクリックして、ビデオページに切り替えます。これは、ビデオ設定を簡単に調整する方法を提供します。



Ver.0.103

This site best viewed with Microsoft Internet Explorer @ 1920 x 1080 screen size.

輝度: LCD パネルのバックライトのブライトネスを変更することにより、画像全体の明るさを調整します。0 (最小) から 100 (最大) まで。

ビデオコントラスト: 映像品質をシャープにするよう調整します。映像の黒い部分はより深みを増し、白い部分はより明るくなります。0 (最小) から 100 (最大) まで。

色: 画像の色の濃さを増減するように調整します。0 (最小) から 100 (最大) まで。

鮮明度: 画像内容を改善するよう調整します。0 (最小) から 100 (最大) まで。

色合い: スクリーンの色合いを調整します。-50 (最小) から 50 (最大) まで。

バックライト: 本製品のバックライトの明るさを調節します。0 (最小) から 100 (最大) まで。

ガンマ: 画像の輝度やコントラストに関連した非線形性の設定を調節します。1 (最小) から 4 (最大) まで。

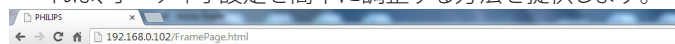
ノイズリダクション: 画像のノイズを除去するよう調整します。適切なノイズ除去レベルを選択できます。以下から選択します: オフ / 低 / 中 / 高

画像形式: 本製品の画像領域を変更します。適切な形式を選択することができます。以下から選択します: 自動ズーム / ムービーを 16:9 に拡大 / ワイドスクリーン / アンシールド / 4:3

ビデオソース: 入力ソースを選択します。USB / ネットワーク / インターネット / SmartCMS / CVBS / YPbPr / VGA / HDMI / DVI-D から選択します

自動調整: 自動調整機能を使って、画像の表示位置を自動的に最適化します。

D. オーディオをクリックして、オーディオページに切り替えます。これは、オーディオ設定を簡単に調整する方法を提供します。



PHILIPS

- Power
- Video
- Audio
- Color
- Tiling
- Date and Time
- Schedule
- Security
- Advanced Settings
- Network Settings
- System Information



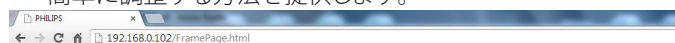
Ver.8.103 This site best viewed with Microsoft Internet Explorer @ 1920 x 1080 screen size.

音量: ボリュームの増減を調整します。0 (最小) から 60 (最大) まで。

高音: 高音の増減を調整します。-8 (最小) から 8 (最大) まで。

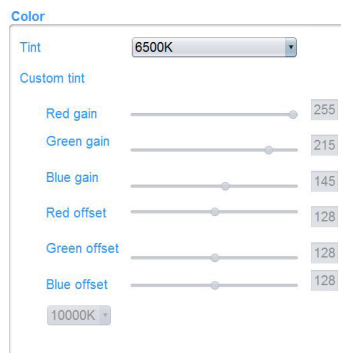
低音: 低音の増減を調整します。-8 (最小) から 8 (最大) まで。

E. 色をクリックして、色ページに切り替えます。これは、色設定を簡単に調整する方法を提供します。



PHILIPS

- Power
- Video
- Audio
- Color
- Tiling
- Date and Time
- Schedule
- Security
- Advanced Settings
- Network Settings
- System Information



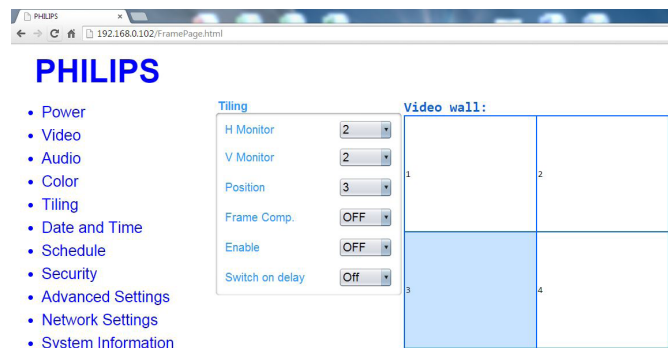
Ver.8.103 This site best viewed with Microsoft Internet Explorer @ 1920 x 1080 screen size.

濃淡: カラーバランスを変更します。寒色 / 標準 / 暖色 / カスタム から選択します

カスタム色合い: この機能により、R (赤)、G (緑)、B (青) 設定を個別に変化させることで、画像の色調を正確に調整できます。

注: カスタム色合いは、濃淡がカスタムに設定されている場合のみ利用可能です。

F. Tiling をクリックして、Tiling ページに切り替えます。この機能を使うと、最大 225 台のディスプレイ (縦に最大 15 台、横に最大 15 台) からなるひとつの大型スクリーン配列 (ビデオウォール) で作成することができます。



Ver.8.103

This site best viewed with Microsoft Internet Explorer @ 1920 x 1080 screen size.

水平モニター: 横列のディスプレイを調節します。

垂直モニター: 縦列のディスプレイを調節します。

位置: スクリーン配列でディスプレイの位置を調節します。

フレーム補正: フレーム補正機能のオンまたはオフを選択します。

有効: タイル機能の {オン} または {オフ} を選択します。

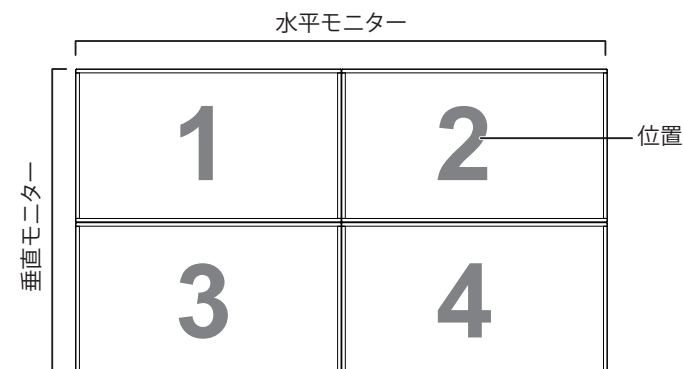
パワーオンディレイ: パワーオン遅延時間を調整することで、各ディスプレイを順番にパワーオンすることができます。

注:

2 x 2 の画面マトリックス (ディスプレイ 4 台)

水平モニター = ディスプレイ 2 台

垂直モニター = ディスプレイ 2 台



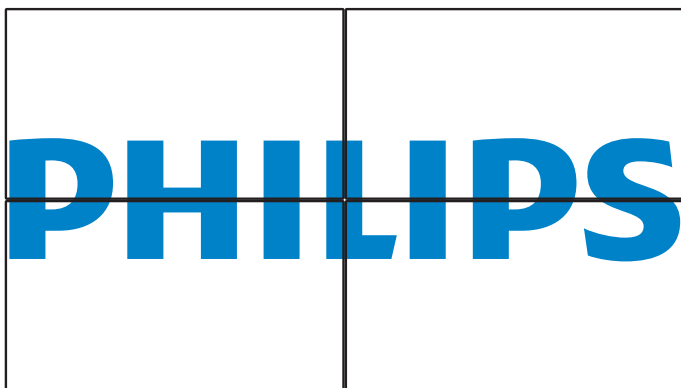
5 x 5 の画面マトリックス (ディスプレイ 25 台)

水平モニター = ディスプレイ 5 台

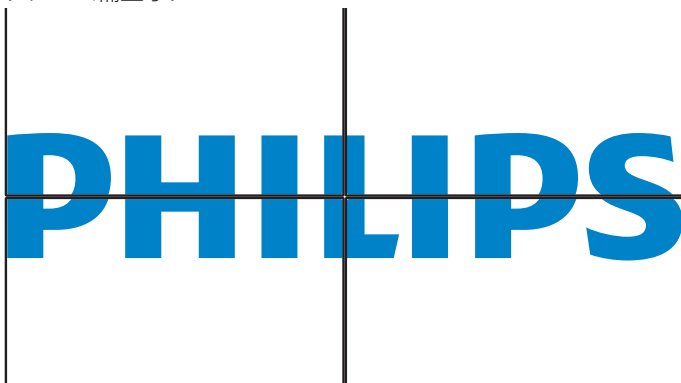
垂直モニター = ディスプレイ 5 台



フレーム補正オン



フレーム補正オフ



- G. 日付と時刻をクリックして、日付と時刻ページに切り替えます。これは、ディスプレイの内部時計の日付と時刻を簡単に設定する方法を提供します。



PHILIPS

- Power
- Video
- Audio
- Color
- Tiling
- Date and Time
- Schedule
- Security
- Advanced Settings
- Network Settings
- System Information

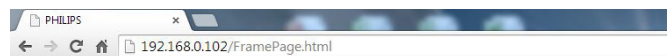
Date and Time

Year: 2015
 Month: 3
 Day: 6
 Hour: 9
 Minute: 54

Ver.0.103

This site best viewed with Microsoft Internet Explorer @ 1920 x 1080 screen size.

- H. スケジュールをクリックして、スケジュールページに切り替えます。この機能を使うと、最大7つの異なるスケジュール間隔で本製品を作動することができます。



PHILIPS

- Power
- Video
- Audio
- Color
- Tiling
- Date and Time
- Schedule
- Security
- Advanced Settings
- Network Settings

Schedule

Page: 1

Input: Internet

On: 0 : 0

Off: 0 : 0

☐ Every Sunday
 ☐ Every Monday
☐ Every Tuesday
 ☐ Every Wednesday
☐ Every Thursday
 ☐ Every Friday
☐ Every Saturday

注: スケジューリング設定に関する詳細説明については、21 ページのスケジューリングを参照してください。

- I. セキュリティをクリックして、セキュリティページに切り替えます。これは、ユーザー名とパスワードを簡単に変更する方法を提供します。

ユーザー名とパスワードフィールドに新しいユーザー名とパスワードを入力し、その後、設定ボタンをクリックして、新しいユーザー名とパスワードを設定します。



PHILIPS

- Power
- Video
- Audio
- Color
- Tiling
- Date and Time
- Schedule
- Security
- Advanced Settings
- Network Settings
- System Information

Security

Username: admin

Password: ****

Confirm Password:

Set

Ver.0.103

This site best viewed with Microsoft Internet Explorer @ 1920 x 1080 screen size.

- J. 高度設定をクリックして、高度設定ページに切り替えます。



PHILIPS

- Power
- Video
- Audio
- Color
- Tiling
- Date and Time
- Schedule
- Security
- Advanced Settings
- Network Settings
- System Information

Advanced Settings

Local KB lock: Unlock

RC lock: Unlock

Monitor Group: 1

Monitor ID: 1

Advanced power management: On

Ver.0.103

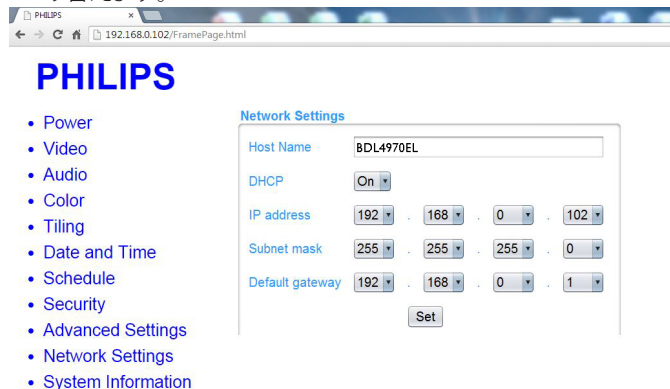
This site best viewed with Microsoft Internet Explorer @ 1920 x 1080 screen size.

ローカルキーパッドロック: 本製品のキーボード (コントロールボタン) 機能を有効または無効にします。

リモコンロック: リモコンのボタン機能を有効または無効にします。
 モニタグループ: グループ範囲を 1 から 255 の値に調節します。デフォルト設定は 1 です。

モニタ ID: RS232 接続経由で本製品を操作するために ID 番号を調節します。本製品を複数台接続する場合には、各ディスプレイに一意の ID を割り当てる必要があります。モニターの ID 番号範囲は 1 ～ 255 の間です。デフォルト設定は 1 です。

K. ネットワーク設定をクリックして、ネットワーク設定ページに切り替えます。



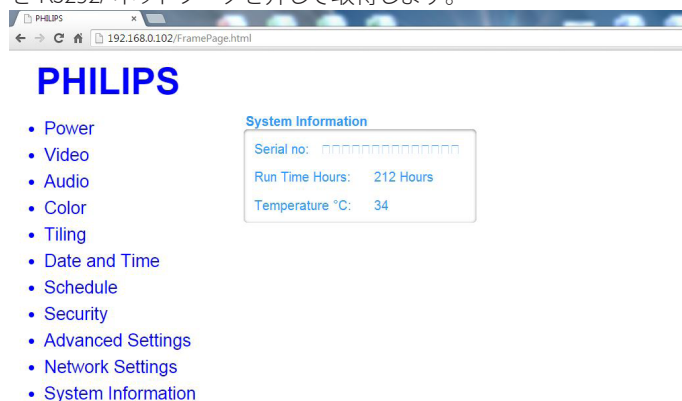
Ver.0.103 This site best viewed with Microsoft Internet Explorer @ 1920 x 1080 screen size.

ホスト名: 複数のディスプレイが接続されている場合、各ディスプレイの名前を変更して識別しやすくなります。

DHCP: 本製品のネットワーク リソースへのアドレスの割り当て方を選択します。(オン: DHCP と自動 IP、オフ: 固定 IP)。DHCP がオンに設定されている場合、デバイスは、起動するたびに、アドレスを要求し、割り当てられます。そうでない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を依頼する必要があります。

L. システム情報をクリックして、システム情報ページに切り替えます。

ディスプレイ情報を取得する。シリアル番号、動作時間および温度を RS232/ ネットワークを介して取得します。



Ver.0.103 This site best viewed with Microsoft Internet Explorer @ 1920 x 1080 screen size.

注:

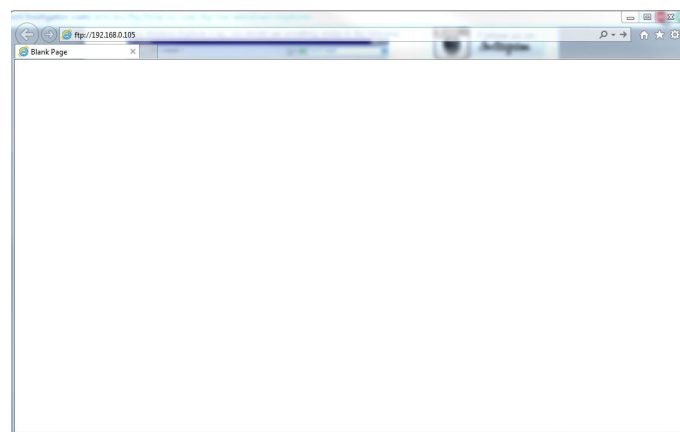
- 一部のブラウザの問題は、ブラウザ自身により引き起こされている可能性があります。最適な表示およびセキュリティのために、ブラウザを最新維持することをお勧めします。
- ウェブコントロールの最適な性能を実現するために IE の使用を推奨します。

5.1.9. FTP サーバー

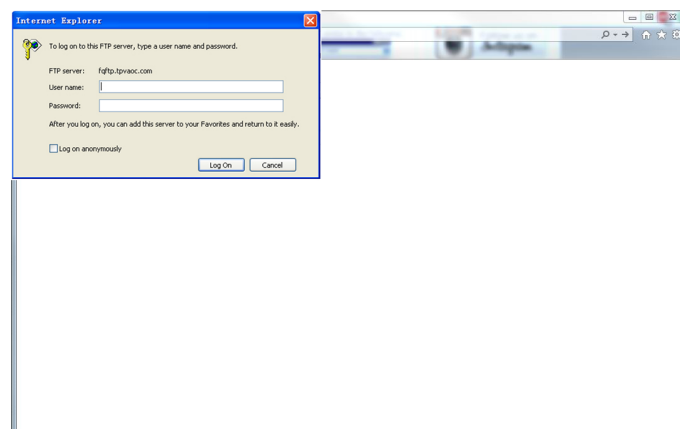
A. ネットワークに接続していることを確認します。情報ボタンを押し、ネットワークの接続を表示できます。

HDMI 1 1080p60		14/05/2018 月曜日 16:10:14
Picture format	Wide screen	
Picture style	Standard	
Sound style	Personal	
Smart power	Off	
Volume	0	
Monitor group	1	
Monitor ID	1	
Model name	55BDL3102H	
SW Version	1.51	
Serial no		
Temperature	25°C	
Network configuration	DHCP & Auto IP	
IP address	192.168.1.116	
Netmask	255.255.255.0	
Gateway	192.168.1.1	
Network name	55BDL3102H	
Ethernet MAC address	FF:FF:FF:FF:FF:FF	

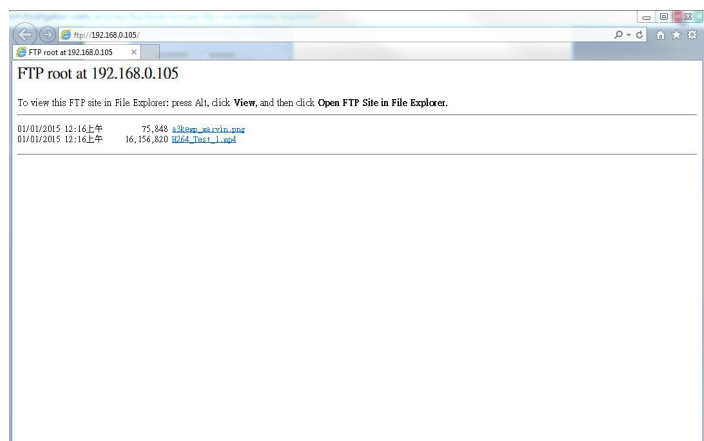
B. Internet Explorer を開き、アドレスバーに FTP サイトのアドレスを入力します。



C. 接続するアカウント用のユーザー名とパスワードを入力し、ログオンをクリックします。



D. FTP 接続が開きました。



注:

1. アドレスは、ftp:// で始まります (http:// で始まることはありません)。
2. 内部メモリの場合、ユーザー名は philips、パスワードは philips です。
3. 外部 USB デバイスの場合、ユーザー名は usb、パスワードは usb です。
4. USB 自動再生 機能を使用して、USB コピーの代わりに FTP により、メディアファイルをアップロードすることができます。

6. USB デバイス互換性

USB 動画サブタイトルのフォーマット (言語字幕など)

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオコーデック	最大解像度	最大フレーム率 (fps)	最大ビットレート (Mbps)	オーディオコーデック
.mpg mpeg .vob	PS	MPEG-1	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC(v1&v2)、 DVD-PCM
		MPEG-2	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	
		H.264	1920x1080	25p、30p、50p、 60p、60i	30	
.ts	TS	MPEG-2	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC(v1&v2)
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	
		H.264	1920x1080	25p、30p、50p、 60p、60i	30	
		MVC	1920x1080i@field rate=50、60Hz 1920x1080p@frame rate=24、25、30Hz 1280x720p@frame rate=50、60Hz	-	30	
.ts .m2ts .mts .mt2	MaTS/TTS	MPEG-2	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC(v1&v2)
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	
		H.264	1920x1080	25p、30p、50p、 60p、60i	30	
		MVC	1920x1080i @ field rate=50、60Hz 1920x1080p @ frame rate=24、25、30Hz 1280x720p @ frame rate=50、60Hz	-	30	
.ts .m2ts .mts	AVCHD	MPEG-2	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC(v1&v2)
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	
		H.264	1920x1080	25p、30p、50p、 60p、60i	30	
.ts .m2ts .mts	AVCHD	MVC	1920x1080i@field rate=50、60Hz 1920x1080p@frame rate=24、25、30Hz 1280x720p @ frame rate=50、60Hz	-	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC(v1&v2)
.m4v	M4V	H.264	1920x1080	25p、30p、50p、 60p、60i	30	AAC
.ism/Manifest .mpd	frag MP4	H.264	1920x1080	25p、30p、50p、 60p、60i	30	AAC/HE-AAC(v1&v2)、 WMA、 WMA-PRO
		MVC	1920x1080i@field rate=50、60Hz 1920x1080p@frame rate=24、25、30Hz 1280x720p @ frame rate=50、60Hz	-	30	
.mp4	MP4	MPEG-4 ASP	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	AAC/HE-AAC(v1&v2)、 WMA、 WMA-PRO
		H.264	1920x1080		30	
		MVC	1920x1080i@field rate=50、60Hz 1920x1080p@frame rate=24、25、30Hz 1280x720p @ frame rate=50、60Hz	-	30	
		WMV9/VC1	1920x1080	30p、60i	30	
.mkv .mk3d	MKV	MPEG-4 ASP	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC(v1&v2)、 WMA、 WMA-PRO
		H.264	1920x1080		30	

USB マルチメディアのフォーマット

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオコーデック	最大解像度	周波数 (kHz)	最大ビットレート (Mbps)	オーディオコーデック
.mp3	MP3	-	-	48	384	MPEG-1、2、2.5 L3
.wav(PC)	LPCM	-	-	192	768	LPCM
.aif(mac) .aiff(mac)	LPCM	-	-	192	768	LPCM
.aac .mp4 .m4a	AAC	-	-	48	1024	AAC、HE-AAC(v1&v2)
.pls .m3u	プレイリスト	-	-	-	-	-
.m4a	M4A	-	-	48	1024	AAC、HE-AAC(v1&v2)

画像形式

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオコーデック	最大解像度	周波数	最大ビットレート	オーディオコーデック
jpg/jpeg	JPEG		カラーモード = 444 の場合、 ・ 32,768×16,128 未満 カラーモード = 422v の場合、 ・ 16,384×16,128 未満 その他のカラーモードの場合 ・ サポートしていません	-	-	-
BMP	BMP		4096×3072_4bit 2730×2500_8bit 2048×1536_16bit 1500×1200_32bit	-	-	-
png	PNG		4096×3072_4bit 2730×2500_8bit 2048×1536_16bit 1500×1200_32bit	-	-	-
gif	GIF		4096×3072_4bit 2730×2500_8bit 2048×1536_16bit 1500×1200_32bit	-	-	-

注記：

- 音声及び動画コンテンツが上記の表に記された対応フレーム / 秒以上の標準ビットレート / フレーム率である場合、音声や動画が正常に再生されないことがあります。
- 映像コンテンツが上記の表に記述された比率以上のビットレートやフレーム率である場合、再生すると途切れがちな映像になることがあります。

7. 入力モード

VGA 解像度：

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレート	画素レート	縦横比	モードの標準
	水平画素	垂直線				
VGA	640	480	60 Hz	25.175 MHz	4:3	ビデオグラフィックアレイ
			72 Hz	31.5 MHz		
			75 Hz	31.5 MHz		
WVGA	720	400	70 Hz	33.75 MHz	16:9	ワイドビデオグラフィックアレイ
SVGA	800	600	60 Hz	40 MHz	4:3	スーパー VGA
			75 Hz	49.5 MHz		
XGA	1024	768	60 Hz	65 MHz	4:3	拡張グラフィックアレイ
			75 Hz	78.75 MHz		
WXGA	1280	768	60 Hz	79.5 MHz	5:3	ワイド XGA
WXGA	1280	800	60 Hz	79.5 MHz	16:10	ワイド XGA
SXGA	1280	1024	60 Hz	108 MHz	5:4	スーパー XGA
WXGA	1360	768	60 Hz	85.5 MHz	16:9	ワイド XGA
UXGA	1600	1200	60 Hz	162 MHz	4:3	ウルトラ XGA
HD1080	1920	1080	60 Hz	148.5 MHz	16:9	HD1080

SDTV 解像度：

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレート	画素レート	縦横比	モードの標準
	水平画素	垂直線				
480i	720	480	59.94 Hz	27 MHz	4:3	変更された NTSC 規格
480p						
576i	720	576	50 Hz	27 MHz	4:3	変更された PAL 規格
576p						

HDTV 解像度：

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレート	画素レート	縦横比	モードの標準
	水平画素	垂直線				
720p	1280	720	50 Hz	74.25 MHz	16:9	通常は DVB モード
			60 Hz			
1080i	1920	1080	50 Hz	74.25 MHz	16:9	通常は ATSC モード
			60 Hz	74.176 MHz		
1080p	1920	1080	50 Hz	148.5 MHz	16:9	通常は ATSC モード
			60 Hz	148.325 MHz		

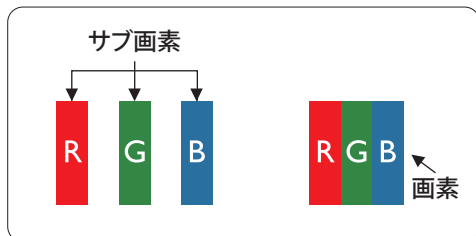
- PC のテキスト品質は、HD1080 モード (1920 × 1080、60Hz) で最適です。
- お使いの PC ディスプレイ画面は、メーカー（および Windows の特定のバージョン）により異なって表示されることがあります。
- PC をディスプレイに接続する情報については、お使いの PC の取扱説明書を確認してください。
- 垂直と水平の周波数選択モードが存在する場合、60Hz (垂直) と 31.5kHz (水平) を選択します。場合によって、PC の電源が OFF の場合（または PC が接続されていない場合）に異常な信号（筋など）が画面に表示されることがあります。その場合は [入力] ボタンを押してビデオモードに入ります。また、PC が接続されていることを確認してください。
- 水平同期信号が RGB モードで不規則に見えるときは、PC の省電力モードまたはケーブル接続を確認してください。
- 本製品の設定表は IBM/VESA 規格に準拠しており、アナログ入力に基づいています。
- DVI サポートモードは PC サポートモードと同じと見なされます。
- 各モードの最適な垂直周波数は 60Hz です。

8. 画素欠陥ポリシー

当社は最高品質の製品をお届けすることを目指して、業界でもっとも進んだ製造プロセスと可能な限りもっとも厳しい品質管理を採用しています。しかしながら、プラズマおよび LCD ディスプレイで使用する PDP / TFT パネルの画素またはサブ画素に欠陥が生じるのはやむを得ない場合があります。すべてのパネルに画素欠陥がないことを保証できるメーカーはありませんが、Philips では保証期間中であれば、地域の保証条件と一致して、受け入れられない数の欠陥があるプラズマおよび LCD ディスプレイを修理または交換することを保証します。

この通知はさまざまな種類の画素欠陥を説明し、LCD 画面について受け入れられる欠陥レベルを定義するものです。保証に基づき修理の資格を得るには、欠陥画素の数が参照表で示した特定のレベルを超えている必要があります。LCD 画面が仕様の範囲内である場合、保証による交換 / 返金はお断りいたします。また、ある種類または組み合わせの画素欠陥が他のものより顕著であることもあるため、Philips ではこれらのものに対してより高い品質規格を設定しています。

8.1. 画素とサブ画素



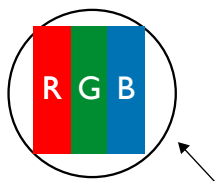
画素、または画像要素は赤、緑、青の原色の 3 つのサブ画素で構成されています。多くの画素が集まって画像を形成します。画素のすべてのサブ画素が明るいと、3 つの色の付いたサブ画素が 1 つの白い画素として一緒に表示されます。すべての画素が暗くなると、3 つの色の付いたサブ画素は 1 つの黒い画素として集まって表示されます。点灯するサブ画素と暗いサブ画素のその他の組み合わせは、他の色の 1 つの画素として表示されます。

8.2. 画素欠陥の種類 + ドット定義

画素とサブ画素の欠陥は、さまざまな方法で画面に表示されます。画素欠陥には 3 つのカテゴリーがあり、各カテゴリーにはいくつかの種類のサブ画素欠陥があります。

ドット定義 = 欠陥のある「ドット」とは何か？

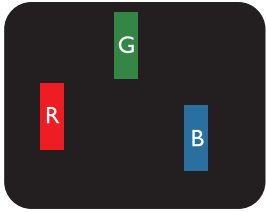
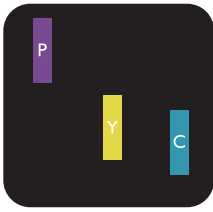
1 つ以上の欠陥、隣接するサブ画素は 1 つの「ドット」として定義されます。欠陥のあるサブ画素の数は、欠陥ドットの定義に関連しません。つまり、欠陥ドットは 1、2 または 3 つの暗いまたは点灯する、欠陥サブ画素で構成されることがあります。



1 つのドット = 赤、緑、青の 3 つのサブ画素で構成される 1 つの画素。

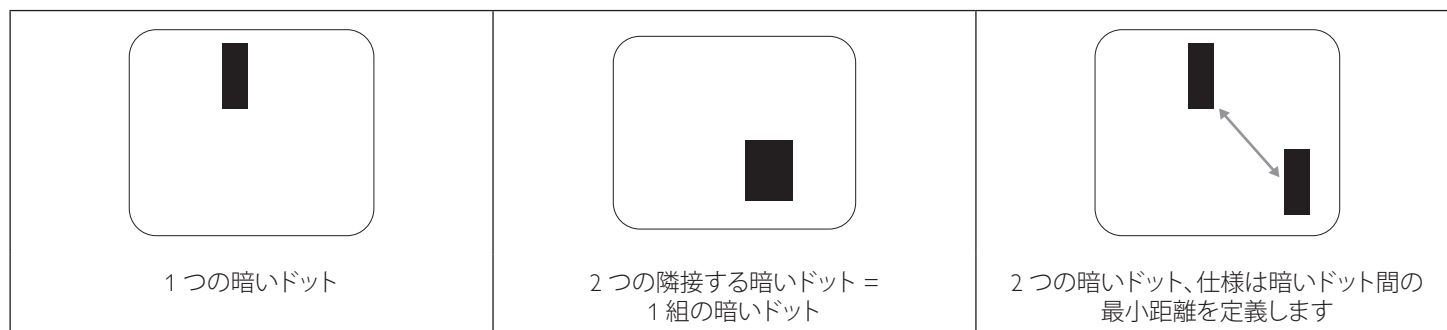
8.3. 明るいドット欠陥

明るいドット欠陥は、常時点灯または「オン」になっている画素またはサブ画素として表されます。以下に、明るいドット欠陥の例を紹介します。

 1 つの点灯する赤、緑または青いサブ画素。	 2 つの隣接する点灯サブ画素： 赤 + 青 = 紫 赤 + 緑 = 黄 緑 + 青 = 青緑 (ライトブルー)	 3 つの隣接する点灯サブ画素 (1 つの白い画素)
--	--	--

8.4. 暗いドット欠陥

暗いドット欠陥は、常に暗いかまたは「オフ」になっている画素またはサブ画素として表されます。以下に、暗いドット欠陥の例を紹介します。



8.5. 画素欠陥の近接

互いに近くにある同じ種類の画素とサブ画素欠陥はとても目立つため、Philips では画素欠陥の近接の許容範囲についても指定しています。以下の表で、その仕様をご確認ください。

- 許容される量の隣接する暗いドット = (隣接する暗いドット = 1組の暗いドット)
- 暗いドット間の最小距離
- すべての欠陥ドットの総数

8.6. 画素欠陥の許容範囲

保証期間中に画素欠陥による修理または交換の資格を得るには、Philips プラズマ / LCD ディスプレイの PDP / TFT モニタパネルに、次の表に一覧された許容範囲を超えた画素またはサブ画素欠陥がある必要があります。

明るいドット効果	受け入れられるレベル
1つの明るいサブ画素	2
黒いドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの暗いサブ画素	10
すべての種類の総ドット欠陥	12

注記:* 1つまたは2つの隣接するサブ画素欠陥 = 1つのドット欠陥

8.7. MURA

一部の LCD (液晶ディスプレイ) パネルには、暗い点またはパッチがときどき現れることがあります。この現象は、日本語の「ムラ」という用語である Mura として業界では知られています。これは、均一でない画面均一性が特定の条件下で現れる領域の均一でないパターンを説明するために使用されます。Mura は液晶配向層の劣化の結果で、高い周辺温度下での長期間の操作が原因でもっとも一般的に引き起こされます。これは業界全体の現象で、Mura は修理できません。これも、当社の保証条件の対象外です。

Mura は LCD 技術の導入から、画面が大きくなり 1 日 24 時間休みなしに稼働するようになり、多くのディスプレイが低い低光量の条件下で動作されるようになってからずっとつきまとっています。こういったことすべてが、ディスプレイに影響を与える Mura の可能性を高めています。

MURA を見分ける方法

Mura には多くの症状と、複数の原因があります。これらのいくつかを、以下に一覧します。

- 結晶マトリックスの混入物または異物
- 製造中の液晶マトリックスの不均等な分布
- バックライトの付近位置な輝度分布
- パネル部品誘発ストレス
- LCD セル内部の傷
- 熱誘発ストレス - 長期間にわたる高温での操作

MURA を避ける方法

毎回 Mura を完全に根絶する保証はできませんが、一般に Mura の出現は以下の方法により最小限に抑えることができます。

- バックライトの明るさを下げる
- スクリーンセーバーを使用する
- 装置周囲の空気温度を下げる

9. 清掃とトラブルシューティング

9.1. 清掃

本製品を使用する際の注意

- 手や顔、物をディスプレイの通気口に近づけないで下さい。ディスプレイ上部は、通気口から放出される排気のため高温となっており、身体の一部を近づけ過ぎると火傷や怪我をすることがあります。ディスプレイの上部付近に物を置くと、当該物およびディスプレイ本体に、熱による破損が生じる可能性があります。
- ディスプレイを移動する際は、必ずすべてのケーブルを抜いて下さい。ケーブルが接続されたままディスプレイを移動させると、ケーブルの破損や火事、感電を引き起こす恐れがあります。
- 清掃や保守作業を行う際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

前面パネル清掃手順

- ディスプレイの液晶パネル部は非常にデリケートです。表面はクリーニング用のクロスか、柔らかい糸くずの出ない布で優しく拭いて下さい。
- 液晶パネル表面が汚れた場合には、中性洗剤の溶液に柔らかい糸くずの出ない布を浸し、固く絞って余分な水分を取り除いた上で、液晶パネル表面を拭き埃を除いて下さい。その後、同じ種類の乾いた布で拭いて下さい。
- 液晶パネル表面を爪で引っ掻いたり、硬い物をぶつけたりしないで下さい。
- 殺虫剤、溶剤、シンナーのような揮発性物質を使用しないで下さい。

キャビネット清掃手順

- キャビネットが汚れたら、柔らかい乾いた布で拭いて下さい。
- キャビネットの汚れがひどい場合は、中性洗剤の溶液に柔らかい糸くずの出ない布を浸し、固く絞って水分を取り除いた上で、キャビネット表面を拭きます。その後、別の乾いた布で拭いて表面を乾かして下さい。
- 液晶パネル表面は、水や洗剤にさらさないようにして下さい。水分がディスプレイ内部に入り込むと、動作不良や故障、感電事故が起こる恐れがあります。
- キャビネットを爪で引っ掻いたり、硬い物をぶつけたりしないで下さい。
- キャビネットには殺虫剤、溶剤、シンナーのような揮発性物質を使用しないで下さい。
- ゴム製品またはポリ塩化ビニール製品を長期間キャビネット付近に置かないで下さい。

9.2. トラブルシューティング

症状	想定される原因	対処
映像が表示されない	1. 電源プラグが抜けている。 2. ディスプレイの背面にある主電源スイッチがオンになっていない。 3. 選択された入力ソースが接続されていない。 4. ディスプレイがスタンバイモードになっている。	1. 電源プラグをコンセントに差し込みます。 2. 電源スイッチがオンであることを確認します。 3. ディスプレイに入力ソースを接続します。
表示された画像が乱れる、または音声にノイズが聞こえる	周囲に電子機器や蛍光灯がある。	干渉が少ない場所にディスプレイを移動させます。
色がおかしい	信号ケーブルが正しく接続されていない。	信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。
映像が異常な模様で歪んでいる	1. 信号ケーブルが正しく接続されていない。 2. 入力ソースがディスプレイのスペックに合っていない。	1. 信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。 2. 本製品の範囲を超えていないか、ビデオ信号ソースを確認します。本製品の仕様のセクションで、仕様を確認してください。
画像が画面いっぱいに表示されない	1. ズームモードが正しく設定されていない。 2. スキャンモードが誤ってアンダースキャンに設定されている。	画面設定メニューのズームモードまたはCUSTOM ZOOMメニューで、画像の配置を調整します。 画像が画面サイズを超える場合、スキャンモードをアンダースキャンに設定する必要があります。
音声は聞こえるが、映像が表示されない	信号ケーブルが正しく接続されていない。	ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認します。
映像は表示されるが、音が聞こえない	1. 信号ケーブルが正しく接続されていない。 2. 音量が一番低く設定されている。 3. [Mute] がオンになっている。 4. 外部スピーカーが接続されていない。	1. ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認します。 2. [VOL UP] [VOL DOWN] ボタンで音量を調整します。 3. [Mute] ボタンを押してミュートをオフにします。 4. 外部スピーカーを接続し、適切なレベルに音量を調節します。
一部の画素が光らない	液晶パネルに画素欠陥がある。	ディスプレイは精密な技術で製造されていますが、液晶パネルに画素欠陥が存在する場合があります。これは故障ではありません。
電源をオフにした後も残像が表示される (例: ロゴ、ビデオゲーム、パソコン画面、4:3 モードで表示された静止画像などの残像)	静止画像を長時間表示した。	静止画像を長時間表示しないで下さい。ディスプレイ上に残像が表示される原因となります。

10. 技術仕様

ディスプレイ:

項目	仕様
画面サイズ (アクティブ領域)	54.6" (138.7 cm) LCD
縦横比	16:9
画素数	1920 (水平) × 1080 (垂直)
画素ピッチ	0.63 (横) × 0.63 (縦) [mm]
表示可能色	8 ビット、1670 万色
輝度 (標準)	2500 cd/m ²
コントラスト比 (標準)	5000:1
表示角度	178 度

入 / 出力端子:

項目	仕様
スピーカー出力	内部スピーカー 外部スピーカー 10W (左) + 10W (右) [RMS]/8 Ω 82 dB/W/M/160 Hz ~ 13 KHz
音声出力	フォンジャック × 1 0.5V [rms] (標準) / 2 チャンネル (L+R)
音声入力	RCA ジャック × 2 3.5mm ステレオ × 1 0.5V [rms] (標準) / 2 チャンネル (L+R)
RS232	2.5mm フォンジャック × 2 RS232 入力 / RS232 出力
RJ-45	RJ-45 ジャック × 1 (8 ピン) 10/100 LAN ポート
HDMI 入力	HDMI ジャック × 2 (タイプ A) (18 ピン) デジタル RGB:TMDs (ビデオ + 音声) 最大: 動画 - 720p、1080p、1920 × 1080/60 Hz (WUXGA) 音声 - 48 KHz/2 チャンネル (L+R) LPCM のみサポート
DVI-D 入力	DVI-D ジャック デジタル RGB:TMDs (ビデオ)
VGA 入力	D-Sub ジャック × 1 (15 ピン) アナログ RGB:0.7V [p-p] (75 Ω)、H/CS/V:TTL (2.2k Ω)、SOG:1V [p-p] (75 Ω) 最大: 720p、1080p、1920 × 1080/60 Hz (WUXGA)
DVI-I (DVI-D & VGA) 出力	DVI-I ジャック × 1 (29 ピン) デジタル RGB:TMDs (ビデオ) アナログ RGB:0.7V [p-p] (75 Ω)、H/CS/V:TTL (2.2k Ω)、SOG:1V [p-p] (75 Ω) 最大: 720p、1080p、1920 × 1080/60 Hz (WUXGA)
コンポーネント入力	BNC ジャック × 3 Y:1V [p-p] (75 Ω)、Pb:0.7V [p-p] (75 Ω)、Pr:0.7V [p-p] (75 Ω) 最大: 480i、576i、480p、576p、720p、1080i、1080p
ビデオ入力	BNC × 1 (Component_Y と共有) コンポジット 1V [p-p] (75 Ω)
ディスプレイポート イン / アウト	ディスプレイポート ジャック × 2 (20 ピン) デジタル RGB:TMDs (ビデオ + 音声) 最大: 動画 - 720p、1080p、1920 × 1080/60 Hz (WUXGA) 音声 - 48 KHz/2 チャンネル (L+R) LPCM のみサポート

一般:

項目	仕様
内部メモリ	16GB eMMC (12GB 使用可能)
電源	AC 100 - 240V、50 - 60Hz
消費電力(最大)	508 W
消費電力(標準)	368 W
消費電力(スタンバイ & オフ)	<0.5W
寸法 (スタンドなし) [幅 × 高さ × 奥行き]	1243.2 × 714 × 137.9 mm
重量 (スタンドなし)	32.2 Kg
総重量 (スタンドなし)	39.6 Kg

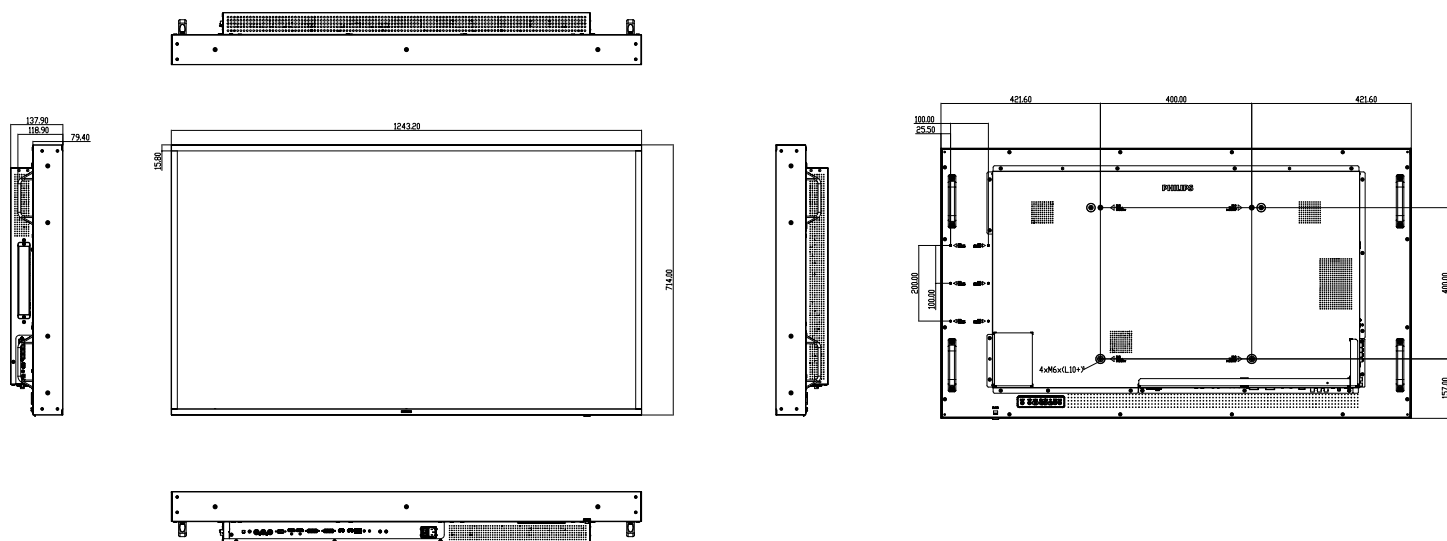
製品概要:

項目	仕様
可視画面サイズ	1209.6 × 680.4 mm
オンモード時の電力消費量 (W)	333 W
年間エネルギー消費量 (kWh)	487 kWh
スタンバイ時の電力消費量 (W)	0.50 W
オフモード時の電力消費量 (W)	0.50 W
ディスプレイ解像度 (ピクセル)	1920*1080
ネットワークスタンバイ (W)	25W

環境条件:

項目		仕様
温度	操作時	0 ~ 40℃
	ストレージ	-20 ~ 60° C
湿度	操作時	20 ~ 80% RH (結露なし)
	ストレージ	5 ~ 95% RH (結露なし)
高度	操作時	0 ~ 3,000 m
	保管時 / 輸送中	0 ~ 9,000 m

11. 外形図





フィリップス デジタルサイネージ用
ディスプレイ・サポートセンター

0120 - 060 - 530
philips-support@seamless.co.jp

受付時間
10:00-17:00 (平日)

2018 © Koninklijke Philips N.V. 無断複製および転載を禁じます。

PhilipsおよびPhilips Shield EmblemはKoninklijke Philips N.V.の登録商標であり、Koninklijke Philips N.V.の許可を得て使用しています。Koninklijke Philips N.V.

仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。